

平成29年度 事務事業点検シート

事務事業名	都市計画総務一般事務事業 <div style="text-align: right;">他 1 事業</div>	新規/継続	継続事業	整理番号	0157101000 - 001				
		分割/統合	事業の統合						
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容	土木総務一般事務事業を平成30年度から統合予定					
	款	土木費	事業所管課	都市局都市整備室都市総務課					
	項	都市計画費	連絡先	(078)918-5037					
	目	都市計画総務費	自治/法定	自治+法定	開始年度	昭和 45 年度			
	事業	都市計画総務一般事務事業	根拠法令・要綱等	都市計画法 明石市都市計画審議会条例					
施策分野	5 都市基盤整備分野		実施方法	直営	<input type="radio"/>	補助・助成	<input type="checkbox"/>	その他	<input type="checkbox"/>
	5-1 良好な都市環境の整備			委託	<input type="radio"/>	指定管理	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
個別計画									

目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）
 業務の一般管理業務を適正かつ効率的に執行するとともに職員の安全衛生を図る。
 ・適正な制限のもとに土地の合理的な利用を図り、市民の安全で快適な生活と機能的な都市活動を確保するとともに、市民に対し、都市計画に関する情報の提供を行う。

事業の目的・目標	成果指標				
	指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値
	支援システム使用回数	有効に活用されているかを図る指標として設定する。	平成29年度	件	5,500

事業内容

【都市計画総務一般事務事業】
 ・局、室及び課の庶務事業
 ・地域地区等の都市計画決定
 ・都市計画審議会の開催
 平成25年度 4回
 平成26年度 3回
 平成27年度 3回
 平成28年度 2回
 平成29年度 5回(見込)

【都市計画支援システム事務事業】
 ・都市計画支援システムによる情報提供
 平成25年度使用件数 4,894件
 平成26年度使用件数 4,704件
 平成27年度使用件数 5,400件
 平成28年度使用件数 5,690件
 平成29年度使用件数 5,500件(見込)

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				29年度人員配置（人）			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
27決算	4,457	19,690	24,147	912	0	1,165	22,070	正規	2.60	アルバイト	0.00
28当初予算	5,873	13,000	18,873	1,200	0	1,086	16,587	再任用	0.00	その他	0.00
28決算	4,582	13,000	17,582	912	0	1,241	15,429	任期付	0.80	合計	3.40
29当初予算	6,107	23,220	29,327	1,200	0	1,165	26,962				

28年度決算事業費明細	区分（節）	内容	金額	29年度当初予算事業費明細	区分（節）	内容	金額
	報酬	都市計画審議会等委員報酬	296		報酬	都市計画審議会等委員報酬	986
需用費	都市計画変更に伴う図面印刷ほか一般事務経費	1,227	需用費	都市計画変更に伴う図面印刷ほか一般事務経費	1,610		
委託料	都市計画支援システムデータメンテナンス等委託ほか	1,587	委託料	都市計画支援システムデータメンテナンス等委託ほか	1,994		
使用料及び賃借料	コピー機使用料ほか	400	使用料及び賃借料	コピー機使用料ほか	400		
負担金補助及び交付金	研修参加負担金ほか	663	負担金補助及び交付金	研修参加負担金ほか	603		
その他	指導謝礼、各種研修会等旅費、速記料ほか	409	その他	指導謝礼、各種研修会等旅費、速記料ほか	514		
合計			4,582	合計			6,107

平成29年度 事務事業点検シート

整理番号	0157101000-001	事務事業名	都市計画総務一般事務事業	他 1 事業
------	----------------	-------	--------------	--------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			27年度	28年度	29年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	支援システム使用回数	有効に活用されているかを図る指標として設定する。			5,400	5,690	5,500
		平成29年度	件	5,500			
指標で表せない成果							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点に「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
<p>・本事業は、都市局、都市整備室及び都市総務課の事業を円滑に運営する上で必要な事業である。</p> <p>・都市計画審議会の開催については、都市計画法に基づき市が実施するものである。なお、審議会の開催時期を調整することで開催回数を減らすことなど、コストの縮減に努めている。</p> <p>・都市計画支援システムについては、サービス水準の向上及び平準化を図るとともに、事務の省力化に資するものである。また、年間の使用件数が約5千件あるなど、有効に活用されているといえる。</p> <p>・今後の展開としては、地方分権の流れを受けて、都市計画決定については市の負担が増すことが考えられるが、効率化の更なる推進により事業を進めていく。</p>						

平成29年度 事務事業点検シート

事務事業名 公共施設整備等まち再生事務事業		新規/継続	継続事業	整理番号	0157101000 - 002					
		分割/統合								
関連 予算 科目	会計	一般会計		事業の分割/ 統合の内容						
	款	土木費		事業所管課	都市局都市整備室都市総務課					
	項	都市計画費		連絡先	(078)918-5229					
	目	都市計画総務費		自治/法定	自治事務	開始年度	平成 24 年度			
	事業	公共施設整備等まち再生事務事業		根拠法令 ・要綱等	中心市街地の活性化に関する法律					
施策分野		5 都市基盤整備分野		実施方法	直営	<input type="radio"/>	補助・助成	<input type="checkbox"/>	その他	<input type="checkbox"/>
		5-1 良好な都市環境の整備			委託	<input type="radio"/>	指定管理	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
個別計画		中心市街地活性化基本計画								
事業 の 目的 ・ 目標	目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）									
	明石駅前南地区市街地再開発事業の完了における中心市街地等への事業効果等を評価し再開発事業効果を総括する。									
	成果指標									
	指標名	考え方・定義・式			目標年次	単位	目標値			
	再開発事業の事業効果分析	再開発事業の完成に伴う事業効果の検証			平成29年度	—	完了			
事業 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・明石駅前南地区再開発事業にて建設されるビル内の公共公益施設のオープンに向けた内装工事や備品購入を行う。 ・再開発事業の完了による各種効果を調査、検討し、事後評価を行う。 									

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				29年度人員配置（人）			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
27決算	765,890	78,860	844,750	0	0	0	844,750	正規	0.70	アルバイト	0.00
28当初予算	929,265	25,888	955,153	0	857,500	0	97,653	再任用	0.00	その他	0.00
28決算	855,664	25,888	881,552	0	0	0	881,552	任期付	0.00	合計	0.70
29当初予算	550	5,670	6,220	0	0	0	6,220				

28年度 決算 事業費 明細	区分（節）	内容	金額	29年度 当初 予算 事業費 明細	区分（節）	内容	金額
		役務費	再開発ビル内公共施設の既存施設からの移転業務		5,466		旅費
	委託料	再開発ビル内公共施設の整備に係る内装工事委託ほか	808,079		その他	コピー使用料、消耗品等	350
	備品購入費	再開発ビル内公共施設の整備に係る備品購入	39,769				
	その他	コピー使用料、消耗品等	2,350				
	合計		855,664		合計		550

平成29年度 事務事業点検シート

整理番号	0157101000-002	事務事業名	公共施設整備等まち再生事務事業
------	----------------	-------	-----------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			27年度	28年度	29年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	再開発事業の事業効果分析	再開発事業の完成に伴う事業効果の検証			26年度の実施設計をもとに内装整備を行う	26,27年度の実施設計をもとに内装整備を行う	事業効果の検証
		平成29年度	—	完了			
指標で表せない成果							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点に「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
・再開発事業の完了による各種効果を調査、検討し、事後評価を行い、今後の中心市街地のまちづくりや市のあらゆる各種施策に生かしていく。						

平成29年度 事務事業点検シート

事務事業名	屋外広告物規制事務事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0157101000 - 003				
		分割/統合							
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容						
	款	土木費		事業所管課	都市局都市整備室都市総務課				
	項	都市計画費		連絡先	(078)918-5037				
	目	都市計画総務費		自治/法定	法定受託事務	開始年度	平成 5 年度		
	事業	屋外広告物規制事務事業		根拠法令・要綱等	屋外広告物法・兵庫県屋外広告物条例				
施策分野	5 都市基盤整備分野		実施方法	直営	○	補助・助成		その他	
	5-1 良好な都市環境の整備			委託	○	指定管理			
個別計画									

事業の目的・目標	目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）				
	屋外広告物の規制を行うことで美観風致を維持するとともに、危害防止を図り、地域環境と調和した良好な景観形成を図る。				
	成果指標				
	指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値
	屋外広告物許可申請	屋外広告物許可基準により設置された件数	平成29年度	件	480

事業内容	<p>屋外広告物を表示しようとする者からの兵庫県屋外広告物条例に基づく許可申請について、高さ、面積等について審査し、同条例に定められた許可基準に適合している場合に許可を与える。</p> <p>平成26年度 413件 4,525,900円 平成27年度 475件 5,436,600円 平成28年度 456件 4,518,900円 平成29年度 480件(見込)</p>
-------------	---

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				29年度人員配置（人）			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
27決算	168	14,080	14,248	2,016	0	5,437	6,795				
28当初予算	223	13,940	14,163	1,638	0	4,528	7,997	正規	1.40	アルバイト	0.00
28決算	58	13,940	13,998	1,838	0	0	12,160	再任用	0.00	その他	0.00
29当初予算	1,723	14,040	15,763	1,647	0	5,436	8,680	任期付	1.00	合計	2.40

28年度決算事業費明細	区分（節）	内容	金額	29年度当初予算事業費明細	区分（節）	内容	金額
	旅費	近接地旅費	3		29	旅費	近接地旅費
需用費	許可申請書等印刷ほか一般事務経費	12	361	需用費	市屋外広告物条例しおり作成費ほか一般事務経費	361	
使用料及び賃借料	パソコンリース料	43	1,300	委託料	市屋外広告物条例制定に係る基礎調査業務委託	1,300	
			43	使用料及び賃借料	パソコンリース料	43	
	合計		58	合計		1,723	

平成29年度 事務事業点検シート

整理番号	0157101000-003	事務事業名	屋外広告物規制事務事業
------	----------------	-------	-------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			27年度	28年度	29年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	屋外広告物許可申請	屋外広告物許可基準により設置された件数			475	456	420
		平成29年度	件	480			
指標で表せない成果							
屋外広告物規制については、「美観風致を維持するとともに、危害防止を図り、地域環境と調和した良好な景観形成を図ること」が成果としてあげられるが、これらについては数値で測定できるものではない。							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
<ul style="list-style-type: none"> ・本事業は、団体委任事務であるため、兵庫県屋外広告物条例等の改廃がない限りは継続する必要がある。なお、平成30年4月の中核市移行に伴い、市屋外広告物条例に基づいて事務を行うことになるため、現在、条例を策定中である。 ・当該条例による許可手続きについては、一般に浸透しきれておらず、結果的に無許可及び基準不適合の広告物が一定数存在する。無許可及び基準不適合の広告物の削減に向けて、手続きに関する周知及び是正、指導を強化・推進していく。 						

平成29年度 事務事業点検シート

事務事業名	都市景観形成事務事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0157101000 - 004			
		分割/統合						
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容					
	款	土木費		事業所管課	都市局都市整備室都市総務課			
	項	都市計画費		連絡先	(078)918-5037			
	目	都市計画総務費		自治/法定	自治事務	開始年度	平成 4 年度	
	事業	都市景観形成事務事業		根拠法令・要綱等	明石市都市景観条例			
施策分野	5 都市基盤整備分野	実施方法	直営	○	補助・助成	○	その他	
5-1 良好な都市環境の整備	委託			指定管理				
個別計画	都市景観形成基本計画							

事業の目的・目標	目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）				
	建物などのデザイン誘導及び啓発による市民の景観への意識醸成を図ることで、市民が誇りと愛着を持てる個性豊かで美しい都市景観の形成をめざす。				
	成果指標				
	指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値
大規模建築物等の届出	大規模建築物等に関する誘導基準により建築等された件数	平成29年度	件	30	

事業内容	<p>①景観行政団体への移行 ・平成27年11月1日に移行、景観計画検討中</p> <p>②都市景観形成事業 ・都市景観形成重要建築物の指定及び助成 15物件を都市景観形成重要建築物に指定、改修に係る助成による当該建築物の保全(助成は年間3物件程度) ・都市景観形成地区の指定 大久保駅南地区を都市景観形成地区に指定、良好な街並みの保全、育成 ・大規模建築物等の届出制度 高さが15mを超える建築物等に対する、誘導基準に沿った指導、助言 平成26年度・・・17件 平成27年度・・・28件 平成28年度・・・23件 平成29年度・・・30件(見込) 平成24年度より、超大規模建築物などを対象とした都市景観アドバイス会議を実施 平成24年度・・・1件 平成25年度・・・1件 平成27年度・・・1件 平成28年度・・・2件 平成29年度・・・2件(見込) ・啓発 都市景観に関する出前講座 平成26年度・・・4件 平成27年度・・・3件 平成28年度・・・3件 平成29年度・・・3件(見込)</p> <p>③中心市街地における景観向上施策推進事業 ・中心市街地活性化区域内の都市景観形成地区指定に向けた調査等 平成22年度～25年度・・・商業者等意向調査、景観説明会、社会実験、勉強会など実施 平成26年度・・・三白館整備に併せた、商店街の「まちなみ景観ガイドライン」の策定支援 平成27年度・・・三白館整備に併せた、商店街の「まちなみ景観ガイドライン」策定、県道整備に併せた、商店街の「まちなみ景観ガイドライン」の策定支援、その他指定候補地区における景観づくりの展開方策の検討 平成28年度・・・県道整備に併せた、商店街の「まちなみ景観ガイドライン」の検討 平成29年度・・・県道整備に併せた、商店街の「まちなみ景観ガイドライン」の策定(見込)</p>
-------------	--

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				29年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
27決算	6,307	9,840	16,147	1,247	0	0	14,900				
28当初予算	7,497	11,340	18,837	0	0	0	18,837	正規	1.10	アルバイト	0.00
28決算	4,708	11,340	16,048	0	0	0	16,048	再任用	0.00	その他	0.00
29当初予算	1,659	8,910	10,569	0	0	0	10,569	任期付	0.00	合計	1.10

28年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	29年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	報酬	都市景観審議会委員報酬	49		報酬	都市景観審議会委員報酬	317
	報償費	景観アドバイス会議委員報償ほか	80		報償費	景観アドバイス会議委員報償ほか	260
	委託料	明石市景観向上施策推進事業業務委託	918		旅費	近接地旅費	131
	使用料及び賃借料	コピー使用料	94		需用費	景観関係図書購入費ほか	11
	負担金補助及び交付金	都市景観重要建築物の改修にかかる助成ほか	3,502		使用料及び賃借料	コピー使用料	400
	その他	各種研修会等旅費、損害保険料ほか	65		負担金補助及び交付金	都市景観重要建築物の改修にかかる助成ほか	540
	合計				4,708	合計	

平成29年度 事務事業点検シート

整理番号	0157101000-004	事務事業名	都市景観形成事務事業
------	----------------	-------	------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			27年度	28年度	29年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	大規模建築物等の届出	大規模建築物等に関する誘導基準により建築等された件数			28	30	30
		平成29年度	件	30			
指標で表せない成果							
都市景観の形成については、「景観の保全や良好な景観の形成」が成果として挙げられるが、これらについては、数値で測定できるものではない。							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
<p>・本事業は、明石市都市景観条例に基づく事業であり、住民が住み続けたいと思うまちづくりに不可欠なものである。また、景観法や歴史まちづくり法の制定などにみられるように、景観まちづくりの推進が求められているといえる。</p> <p>・景観の形成には、長い時間をかける必要があり、その効果も分かりにくい面があるが、大規模建築物の届出制度及び都市景観形成地区の指定による景観指導、市民への啓発による意識高揚からくる景観形成活動など、その積み重ねにより、良好な景観が形成されつつある。</p> <p>・今後の展開としては、従来の事業者を対象とした大規模建築物の届出などの手続きによる景観誘導のみならず、市民への啓発やPR活動をより推進していくことで、市民自らの意識の更なる高揚を目指し、景観形成を図れるよう事業を推進していく。</p>						

平成29年度 事務事業点検シート

事務事業名 まちづくり推進事業		新規/継続	継続事業	整理番号	0157101000 - 005		
		分割/統合					
関連 予算 科目	会計	一般会計					
	款	土木費					
	項	都市計画費					
	目	都市計画総務費					
	事業	まちづくり推進事業					
施策分野		5 都市基盤整備分野					
		5-1 良好な都市環境の整備					
個別計画		都市計画マスタープラン					
		事業の分割/統合の内容					
		事業所管課	都市局都市整備室都市総務課				
		連絡先	(078)918-5037				
		自治/法定	自治事務	開始年度	平成 6 年度		
		根拠法令・要綱等	都市計画法				
		実施方法	直営	○	補助・助成		その他
			委託		指定管理		
事業の目的・目標	目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）						
	地域主体による積極的なまちづくりを進められるようにする。						
	成果指標						
	指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値		
地区計画数	地区計画を策定した地区数(累計)	平成29年度	地区	27			
説明会・勉強会の開催数	都市計画などのまちづくりに関する説明会・勉強会の開催数	平成29年度	回	3			
事業内容	①まちづくり活動助成						
	<ul style="list-style-type: none"> ・アドバイザーの派遣 地域にアドバイザーを派遣する。まちづくりの制度の研究や地区の合意形成に活用する。 派遣回数 平成25年度 3回 平成26年度 0回 平成27年度 0回 平成28年度 0回 平成29年度 3回(見込) ・活動費の助成 地区の居住環境の保全や改善のために、まちづくりを調査、検討、または計画立案を行っている住民団体に対して活動費を助成する。 助成地区数 平成25年度 1地区 平成26年度 1地区 平成27年度 1地区 平成28年度 1地区 平成29年度 0地区(見込) 						
事業内容	②地区計画の推進						
	<ul style="list-style-type: none"> ・地区計画は、地域主体のまちづくりにおける有効なツールである一方、建築の制限等、私権を制限する側面もあり、素案の策定には慎重かつ入念な合意形成が必要であるので、まちづくり組織に対し指導や助言、共同作業などの支援を行い、素案策定を後押しする。 地区計画策定数 平成25年度 25地区 平成26年度 26地区 平成27年度 26地区 平成28年度 26地区 平成29年度 27地区(見込) 						

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				29年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
27決算	792	7,380	8,172	0	0	0	8,172				
28当初予算	1,227	5,670	6,897	0	0	0	6,897	正規	1.00	アルバイト	0.00
28決算	757	5,670	6,427	0	0	0	6,427	再任用	0.00	その他	0.00
29当初予算	227	8,100	8,327	0	0	0	8,327	任期付	0.00	合計	1.00

28年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	29年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
		負担金補助及び交付金	まちづくり活動助成金、地区計画推進協議会負担金ほか		757		報償費
					旅費	近接地旅費ほか	10
					需用費	図書購入費ほか一般事務経費	10
					負担金補助及び交付金	地区計画推進協議会負担金	57
	合計		757		合計		227

平成29年度 事務事業点検シート

整理番号	0157101000-005	事務事業名	まちづくり推進事業
------	----------------	-------	-----------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			27年度	28年度	29年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	地区計画数	地区計画を策定した地区数(累計)			0(26)	0(26)	1(27)
		平成29年度	地区	27			
	説明会・勉強会の開催数	都市計画などのまちづくりに関する説明会・勉強会の開催数			10	5	3
		平成29年度	回	3			
指標で表せない成果							
地域のまちづくり活動が活性化することで、ハードのみならず福祉や防災などの様々な分野で地域力の向上に繋がっている。							

事業の評価・今後の方向性	観点 (満たしていない観点到「×」)					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
<ul style="list-style-type: none"> ・地域主体のまちづくり活動を支援する市の枠組みが必要不可欠である。また、住民に一番近い立場の市が積極的に関与していく必要がある。 ・地区計画の策定数が26地区(平成29年7月現在)と、兵庫県内においても高い水準となっているほか、他の地区においてもまちづくり意識の萌芽と醸成が着実に進みつつあり、成果については一定の評価ができる。 ・人口減少や高齢化、それに伴う財政制約を踏まえると、公共サービスの縮減が避けられない中、地区計画の推進をはじめとする地域主体のまちづくり活動の必要性が今後一層増していくと考えられる。活動支援のあり方は地域の実情、熟度などにより様ではない。今後も事例研究を重ね、支援や協働の在り方がより最適なものとなるよう努めていく。 						

平成29年度 事務事業点検シート

事務事業名	都市計画方針策定事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0157101000 - 006				
		分割/統合							
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容						
	款	土木費		事業所管課	都市局都市整備室都市総務課				
	項	都市計画費		連絡先	(078)918-5037				
	目	都市計画総務費		自治/法定	自治事務	開始年度	平成 8 年度		
	事業	都市計画方針策定事業		根拠法令・要綱等	都市計画法				
施策分野	5 都市基盤整備分野		実施方法	直営	○	補助・助成		その他	
	5-1 良好な都市環境の整備			委託	○	指定管理			
個別計画	都市計画マスタープラン								

事業の目的・目標	目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）				
	都市計画マスタープラン等に基づいて各種都市計画を決定することで、目指すべき都市構造を実現する。				
	成果指標				
	指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値
都市計画決定	まちづくりを具体化する指標として設定する。	平成29年度	件	3	

事業内容	①都市の動向調査 社会経済情勢の変化に対応するため都市の動向調査を実施する。 調査項目 平成25年度 4項目 平成26年度 4項目 平成27年度 4項目 平成28年度 4項目 平成29年度 4項目(見込)
	②都市計画の決定 あるべき都市像を実現するために都市計画マスタープラン等に基づき、都市計画を決定する。 計画決定件数 平成25年度 8件 平成26年度 1件 平成27年度 10件 平成28年度 2件 平成29年度 3件(見込)
	③都市計画制度の運用にかかる基本方針等を立案 区域区分や地域地区などの見直しに係る基本方針等を策定する。 委託件数 平成25年度 2件 平成26年度 2件 平成27年度 2件 平成28年度 0件 平成29年度 1件(見込)

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				29年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
27決算	2,110	9,430	11,540	0	0	0	11,540	正規	0.90	アルバイト	0.00
28当初予算	4,350	8,505	12,855	0	0	0	12,855	再任用	0.00	その他	0.00
28決算	3,736	8,505	12,241	0	0	0	12,241	任期付	0.00	合計	0.90
29当初予算	3,030	7,290	10,320	0	0	0	10,320				

28年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	29年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	需用費	一般事務経費	64			旅費	近接地旅費
委託料	第7回用途地域等見直し検討業務委託、都市計画動向調査委託	3,672		委託料	第7回用途地域等見直し検討業務委託、都市計画動向調査委託	3,000	
	合計		3,736		合計		3,030

平成29年度 事務事業点検シート

整理番号	0157101000-006	事務事業名	都市計画方針策定事業
------	----------------	-------	------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			27年度	28年度	29年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	都市計画決定	まちづくりを具体化する指標として設定する。			10	2	3
		平成29年度	件	3			
指標で表せない成果							
社会情勢の変化を捉え、各種都市計画制度を通して必要な規制・誘導を実施することにより、健康で文化的な都市生活及び機能的な都市活動の確保に繋がっている。							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
<ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢化をはじめ、地球環境問題への対応など、都市がかつてない課題への対応を求められている状況にあり、今後も状況分析と的確な施策の実施が求められている。 ・法体系上、都市計画の主体は住民に最も近い市町とされており、市が責任を持って市民との協働のもと取り組む必要がある。 ・市民アンケートの結果から、基盤整備や交通など都市環境については、一定の評価が得られている。 ・委託業務について、複数をまとめて発注するなど、費用対効果を高める取り組みを実施している。 ・当事務は変化する都市へ対応するための経費というべきものであり、土地利用等の規制・誘導による短期的な効果の発現は望めないが、長期的には合理的、効率的な都市経営に資するもので重要度は高い。今後も都市の動向を注視し、機動的で的確な都市計画制度の運用に努める。 						

平成29年度 事務事業点検シート

事務事業名	住居表示整備事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0157101000 - 007		
		分割/統合					
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容				
	款	土木費	事業所管課	都市局都市整備室都市総務課			
	項	都市計画費	連絡先	(078)918-5037			
	目	都市計画総務費	自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 37 年度	
	事業	住居表示整備事業	根拠法令・要綱等	住居表示に関する法律・明石市住居表示に関する条例 ・明石市住居表示審議会規則・明石市住居表示整備実施要領			
施策分野	5 都市基盤整備分野		実施方法	直営	○	補助・助成	その他
	5-1 良好な都市環境の整備			委託		指定管理	
個別計画							

事業の目的・目標	目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）				
	市民、事業者を対象とし、地番による住所を合理的な表示方法に改めることで、わかりやすい住所の表示を実現し、市民生活の利便性や行政サービスの向上を図る。				
	成果指標				
	指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値
	住居表示実施率	住居表示の実施状況を測る指標として、住居表示対象区域に対する実施済区域の累計面積から算出する。	平成29年度	%	30.9
事業内容	○昭和37年7月に住居表示整備事業実験都市として指定を受け、昭和39年度の第1次住居表示から平成26年度の第19次住居表示まで条件が整った区域から順次実施してきた。				
	【近年の実施状況】 平成25年2月 第17次住居表示 (新町名)朝霧東町1丁目～3丁目 (旧町名)大蔵谷の一部・朝霧町3丁目の一部・松が丘5丁目の一部 平成26年2月 第18次住居表示 (新町名)朝霧南町2丁目(一部)～4丁目 (旧町名)大蔵谷の一部 平成26年9月 第19次住居表示 (新町名)大久保町茜1丁目～3丁目 (旧町名)大久保町西脇の一部、大久保町大窪の一部、大久保町山手台1丁目の一部 ○平成29年度は鳥羽新田地区の換地処分に合わせた町設定等の検討等を行う。				

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				29年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
27決算	105	2,180	2,285	0	0	0	2,285	正規	0.80	アルバイト	0.00
28当初予算	292	1,345	1,637	0	0	0	1,637	再任用	0.00	その他	0.00
28決算	83	1,345	1,428	0	0	0	1,428	任期付	0.20	合計	1.00
29当初予算	292	7,020	7,312	0	0	0	7,312				

28年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	29年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	使用料及び賃借料	コピー使用料	83		報酬	住居表示審議会委員報酬	31
					旅費	近接地旅費	10
					需用費	一般事務用品、食糧費	51
					使用料及び賃借料	コピー使用料	200
合計			83	合計			292

平成29年度 事務事業点検シート

整理番号	0157101000-007	事務事業名	住居表示整備事業
------	----------------	-------	----------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			27年度	28年度	29年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	住居表示実施率	住居表示の実施状況を測る指標として、住居表示対象区域に対する実施済区域の累計面積から算出する。			30.9	30.9	30.9
		平成29年度	%	30.9			
指標で表せない成果							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点に「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
<ul style="list-style-type: none"> ・住居表示は、住所を分かりやすくすることで、住環境の向上を図るものであり、必要な事業である。 ・町名、町界の整備は、住居表示に関する法律等により、市がなすべき行為と定められている。 ・住居表示が実施された地区では、住所に対する各種の混乱・障害が解消されるなど、市民生活の利便性や行政サービスの向上に寄与している。 ・今後も、一定規模の街区が形成され、住民の合意が得られた地区から順次、住居表示の実施に向けた取り組みを進めていく。 						

平成29年度 事務事業点検シート

事務事業名	コミュニティ交通運行事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0157101000 - 008			
		分割/統合						
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容					
	款	土木費		事業所管課	都市局都市整備室都市総務課			
	項	都市計画費		連絡先	(078)918-5035			
	目	都市計画総務費		自治/法定	自治事務	開始年度	平成 16 年度	
	事業	コミュニティ交通運行事業		根拠法令・要綱等	道路運送法			
施策分野	5 都市基盤整備分野 5-2 交通体系の構築	実施方法	直営	○	補助・助成	○	その他	
個別計画	総合交通計画		委託		指定管理			

事業の目的・目標	目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）				
	コミュニティバス(たこバス)を運行し、交通不便地域の縮減、移動制約者の移動手段の確保等を図る。				
	成果指標				
	指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値
コミュニティバス(たこバス)の利用者数	年間利用者数	平成29年度	万人/年	100	
コミュニティバス(たこバス)の利用者数	全路線一日あたりの利用者数を算出 (利用者数) = (全路線の年間の利用者総数) / 365日	平成29年度	人/日	3,000	

事業内容	コミュニティバス(たこバス) 運行時間: 概ね7時~21時 便数: 概ね1時間に1便 運賃: 大人100円・小人50円 運行事業者: ルート 神姫バス: ①西明石北 ②西明石南 ⑤谷八木 ⑥江井ヶ島 山陽バス: ⑦西江井ヶ島 ⑩青葉台 ⑪清水 ⑫西岡東 ⑮二見 明正キャブ: ③松陰 ④大久保南 明石タクシー: ⑧金ヶ崎 ⑨錦が丘 ルミナスタクシー: ⑬西岡西 ⑭清水西				
	【年間利用者数】 H20年度 717,971人/年 H21年度 782,422人/年 H22年度 867,412人/年 H23年度 919,859人/年 H24年度 971,742人/年 H25年度 1,019,993人/年 H26年度 1,002,136人/年 H27年度 1,038,276人/年 H28年度 1,063,415人/年 H29年度 1,080,000人/年(見込) 【年度別1日当りの平均利用者数】 H19年度(11月~)1,605人/日 H20年度 1,967人/日 H21年度 2,144人/日 H22年度 2,376人/日 H23年度 2,513人/日 H24年度 2,662人/日 H25年度 2,795人/日 H26年度 2,746人/日 H27年度 2,837人/日 H28年度 2,913人/日 H29年度 2,971人/日(見込)				
交通不便地域の縮減や移動制約者の移動手段の確保等を基本コンセプトとして、平成19年11月から路線拡大し運行している。 マップの配布、エコファミリー制度、各種キャンペーンやイベントの実施など利用促進を行う一方で、路線改廃スキームに基づき利用の少ないルートの見直しや、利用者の利便性向上を図っている。					

事業のコスト (単位: 千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				29年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
27決算	151,608	17,300	168,908	0	0	0	168,908	正規	1.50	アルバイト	0.00
28当初予算	161,756	17,500	179,256	0	0	0	179,256	再任用	0.00	その他	0.00
28決算	158,353	17,500	175,853	0	0	0	175,853	任期付	0.50	合計	2.00
29当初予算	160,860	13,500	174,360	0	0	0	174,360				

28年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	29年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	旅費	近接地旅費等	19		50		
需用費	事務用品等	463	635				
負担金補助及び交付金	コミュニティバス(たこバス)運行補助金等	157,871	160,025				
	合計	158,353	160,860				

平成29年度 事務事業点検シート

整理番号	0157101000-008	事務事業名	コミュニティ交通運行事業
------	----------------	-------	--------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			27年度	28年度	29年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	コミュニティバス(たこバス)の利用者数	年間利用者数			104	106	108
		平成29年度	万人/年	100			
	コミュニティバス(たこバス)の利用者数	全路線一日あたりの利用者数を算出 (利用者数) = (全路線の年間利用者総数) / 365日			2,837	2,913	2,971
		平成29年度	人/日	3,000			
指標で表せない成果							
<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティバス(たこバス)が鉄道駅と出発地や目的地とを結ぶ交通として機能することによって、利用しやすい交通ネットワークが形成され、公共交通全体の利用促進につながり、鉄道や路線バスなどの既存公共交通機関の維持と発展を図ることができる。 ・コミュニティバス(たこバス)の運行によって、通院や買い物など移動制約者の移動を確保するなど、高齢化社会に対応した公共交通の役割を担っている。 							

事業の評価・今後の方向性	観点 (満たしていない観点到「×」)					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
				×		
現状の課題・今後の事業展開方針等						
運行開始から11年が経過し、市民にとって日常生活における移動手段として定着してきていることから、利便性の向上と利用促進を進めるとともに経費の削減にも務め、効率的で持続可能な運行を目指していく。						

平成29年度 事務事業点検シート

事務事業名	交通政策事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0157101000 - 009				
		分割/統合							
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容						
	款	土木費		事業所管課	都市局都市整備室都市総務課				
	項	都市計画費		連絡先	(078)918-5035				
	目	都市計画総務費		自治/法定	自治事務	開始年度	平成 17 年度		
	事業	交通政策事業		根拠法令・要綱等					
施策分野	5 都市基盤整備分野		実施方法	直営	○	補助・助成	○	その他	
	5-2 交通体系の構築			委託	○	指定管理			
個別計画	総合交通計画								

事業の目的・目標	目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）				
	平成24年度に見直した総合交通計画に基づき、公共交通の利用促進を基本とし、時代の変化に対応した誰もが安全で円滑に移動できる交通体系を確立する。				
	成果指標				
	指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値
公共交通利用者数	年間利用者数	平成34年	億人/年	1	
外出割合	平成22年の水準を維持	平成34年	%	77	
事業内容	鉄道、バス、海上交通などの公共交通について、利便性向上を図り、利用促進に取り組む。 （主な事業内容） ・明石市総合交通計画（平成24年度改定版）に基づき、公共交通、自動車、自転車など、全ての移動手段を含め、それぞれが適切な役割分担のもとで連携した総合交通体系として計画を位置づけることで、過度に自動車に依存することなく、公共交通をはじめとするあらゆる交通手段を目的に応じて適切に選択し、移動できる交通環境づくりや生活スタイルを確立していく。 ・国、県、関係市及び関係団体と連携し、明石-岩屋間の海上交通のPRを行う。 ・公共交通の利用促進を図るため、学校に対し出前講座の実施、バス沿線の施設などに対しては、公共交通の利用促進施策を実施し、マイカーからの転換を促す。 ・明石地区バス事業者協会とともに設置している「あかしバスに乗ろうプロジェクト！」を通じて、明石市内無料乗車券やバスマップを提供し、本市転入者を積極的に公共交通利用者に転換させ、公共交通の利用者増に向けた活動を行う。 ・路線バスへのノンステップバスの導入、運行赤字に対して、国、県と連携して補助を行う。				

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				29年度人員配置（人）			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
27決算	29,853	25,500	55,353	7,938	8,900	0	38,515				
28当初予算	15,891	25,600	41,491	274	270	0	40,947	正規	1.00	アルバイト	0.00
28決算	15,249	25,600	40,849	274	0	0	40,575	再任用	0.00	その他	0.00
29当初予算	56,484	9,450	65,934	248	45,500	0	20,186	任期付	0.50	合計	1.50

28年度決算事業費明細	区分（節）	内容	金額	29年度当初予算事業費明細	区分（節）	内容	金額
	報償費	地域公共交通会議報償費等	78		240	報償費	地域公共交通会議報償費等
旅費	近接旅費等	298	391	旅費	近接旅費等	391	
需用費	被服費等	35	177	需用費	被服費等	177	
委託料	都市情報提供システム保守管理業務委託	5,616	7,958	委託料	都市情報提供システム保守管理業務委託・利用実態調査業務委託	7,958	
負担金補助及び交付金	民営乗合バス事業補助金、ノンステップバス導入事業補助金等	9,222	30	使用料及び賃借料	地域公共交通会議会議室使用料等	30	
			47,688	負担金補助及び交付金	民営乗合バス事業補助金、ノンステップバス導入事業補助金等	47,688	
	合計		15,249		合計		56,484

平成29年度 事務事業点検シート

整理番号	0157101000-009	事務事業名	交通政策事業
------	----------------	-------	--------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			27年度	28年度	29年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	公共交通利用者数	年間利用者数			98,191,000	98,500,000 (見込み)	99,000,000
		平成34年	億人/年	1			
	外出割合	平成22年の水準を維持			(参考) H26年度 83%		
		平成34年	%	77			
指標で表せない成果							
<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通の利便性向上や利用促進施策の実施により、公共交通サービスの維持と拡充を図り、クルマに依存しなくとも暮らせる交通環境を目指すことは、高齢社会やコンパクトシティへのまちづくりに欠かせない要素である。 ・モビリティ・マネジメントなどにより、クルマから公共交通等への転換を促すことによって、公共交通の利用促進や環境対策につながる。 							

事業の評価・今後の方向性	観点 (満たしていない観点に「×」)					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
<p>明石市総合交通計画(平成24年度改定)に基づき、平成34年において公共交通利用者数を約1億人/年(平成22年:9,329万人)とするため、着実に交通政策事業を展開していく。</p>						

平成29年度 事務事業点検シート

事務事業名 明石駅前南地区市街地再開発事業		新規/継続	H28休廃止	整理番号	0157101000 - 010		
		分割/統合					
関連予算科目	会計	一般会計					
	款	土木費					
	項	都市計画費					
	目	市街地再開発費					
	事業	明石駅前南地区市街地再開発事業					
施策分野		5 都市基盤整備分野					
		5-1 良好な都市環境の整備					
個別計画		中心市街地活性化基本計画					
		事業の分割/統合の内容					
		事業所管課	都市局都市整備室都市総務課				
		連絡先	(078)918-5229				
		自治/法定	自治事務	開始年度	平成 20 年度		
		根拠法令・要綱等	都市再開発法、補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律、明石市補助金等交付規則				
			実施方法		直営	補助・助成	○
				委託	○	指定管理	

目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）
 明石駅前南にある旧耐震基準の大規模建築物を中心に、共同化区域約0.9haと駅前広場や周辺道路約1.3haを加えた施行区域約2.2haについて、土地の合理的かつ健全な高度利用をめざし、商業・業務施設や行政サービス施設、共同住宅を中心とした施設建築物を整備すると共に、駅前広場を再整備することで、賑わいのある安全・安心な中心市街地の形成を図る。

成果指標				
指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値
明石駅前南地区市街地再開発事業の推進	再開発ビル竣工に向けた事業の進捗	平成28年度	-	完成

事業内容

①施行区域内の再開発ビル本体建設事業等（共同施設整備費）に係る補助金を明石駅前南地区市街地再開発組合へ交付する。
 ②再開発事業と一体的に整備する駅前広場及び国道2号立体横断歩行者道路整備事業について施工する。

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				29年度人員配置（人）		
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源			
27決算	3,646,326	35,260	3,681,586	0	0	0	3,681,586	正規	アルバイト	
28当初予算	4,118,768	33,008	4,151,776	2,023,544	2,066,800	1,191	60,241	再任用	その他	
28決算	6,509,924	33,008	6,542,932	0	0	0	6,542,932	任期付	合計	
29当初予算										

28年度決算事業費明細	区分（節）	内容	金額	29年度当初予算事業費明細	区分（節）	内容	金額
	委託料	駅前広場等維持管理業務委託ほか	43,941				
	工事請負費	国道2号立体横断歩行者道路整備工事ほか	333,026				
	公有財産購入費	公共施設取得費ほか	761,738				
	負担金補助及び交付金	再開発事業に関する補助金	5,364,187				
	補償補填及び賠償金	国道2号立体横断歩行者道路整備にかかる補償費	5,617				
	その他	事務用品、コピー使用料、年会費等	1,415				
	合計		6,509,924		合計		

平成29年度 事務事業点検シート

整理番号	0157101000-010	事務事業名	明石駅前南地区市街地再開発事業
------	----------------	-------	-----------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			27年度	28年度	29年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	明石駅前南地区市街地再開発事業の推進	再開発ビル竣工に向けた事業の進捗			・工事の進捗 ・駅前広場整備 ・国道2号立体横断歩行者道路整備	・工事の進捗 ・駅前広場整備 ・国道2号立体横断歩行者道路整備	/
		平成28年度	-	完成			
指標で表せない成果							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点に「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
	平成28年度限りで休廃止					
	現状の課題・今後の事業展開方針等					
	平成28年度限りで休廃止					

平成29年度 事務事業点検シート

事務事業名		海岸管理一般事務事業		新規/継続	継続事業	整理番号	0157102000 - 001		
				分割/統合					
関連予算科目	会計	一般会計		事業の分割/統合の内容					
	款	土木費		事業所管課	都市局都市整備室海岸課				
	項	土木管理費		連絡先	(078)918-5042				
	目	海岸海域整備事業対策費		自治/法定	自治事務	開始年度	不明		
	事業	海岸管理一般事務事業		根拠法令・要綱等	明石市事務分掌規則				
施策分野		5 都市基盤整備分野		実施方法	直営	○	補助・助成	その他	
		5-3 海辺の利活用の推進			委託		指定管理		
個別計画									
事業の目的・目標	目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）								
	海岸整備事業の推進及び一般事務に要する経費を計上している。								
	成果指標								
	指標名	考え方・定義・式			目標年次	単位	目標値		
事業内容	1 海岸管理にかかる一般事務								
	2 各協会総会等への出席 加盟する各協会の総会等へ出席 全国の海岸行政の動向の情報収集								

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				29年度人員配置（人）			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
27決算	551	4,510	5,061	0	0	0	5,061	正規	0.25	アルバイト	0.00
28当初予算	927	3,450	4,377	0	0	0	4,377	再任用	0.10	その他	0.00
28決算	394	3,450	3,844	0	0	0	3,844	任期付	0.25	合計	0.60
29当初予算	887	3,040	3,927	0	0	0	3,927				

28年度決算事業費明細	区分（節）	内容	金額	29年度当初予算事業費明細	区分（節）	内容	金額
		旅費	各加盟協会総会等旅費		42		旅費
	需用費	事務用品	212		需用費	事務用品	417
	負担金補助及び交付金	各加盟総会等参加負担金、年会費	140		使用料及び賃借料	コピー使用料	100
					負担金補助及び交付金	各加盟総会等参加負担金、年会費	170
	合計		394		合計		887

平成29年度 事務事業点検シート

整理番号	0157102000-001	事務事業名	海岸管理一般事務事業
------	----------------	-------	------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			27年度	28年度	29年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
指標で表せない成果							
<ul style="list-style-type: none"> ・海岸関係各事業へもたらした効果 ・各協会への加盟、総会等出席による効果的な情報収集 							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点に「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
<p>これまで様々な効率化の取り組みを行ってきており、今後も有効かつ効率的な事業を継続していく。</p>						

平成29年度 事務事業点検シート

事務事業名	海岸施設維持管理事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0157102000 - 002									
		分割/統合												
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容											
	款	土木費		事業所管課	都市局都市整備室海岸課									
	項	土木管理費			連絡先	(078)918-5042								
	目	海岸海域整備事業対策費				自治/法定	自治事務	開始年度	不明					
	事業	海岸施設維持管理事業					根拠法令・要綱等 明石市事務分掌規則、明石市都市公園条例、明石市海浜の利用並びに海浜利便施設の設置及び管理に関する条例、明石市立大蔵海岸多目的広場条例、明石市港湾施設条例 他							
施策分野	5 都市基盤整備分野	実施方法	直営								<input type="radio"/>	補助・助成	<input type="checkbox"/>	その他
	5-3 海辺の利活用の推進		委託	<input type="radio"/>							指定管理	<input type="radio"/>		
個別計画														

事業の目的
目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）
 大蔵海岸及び各海岸休憩施設を市民が快適に利用できるように維持管理を行うとともに海浜利用者の安全の確保を行う。

成果指標					
指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値	
海岸施設維持補修件数	パトロール等で発見した補修必要箇所の対応件数(維持管理事業修繕料執行件数)	平成29年	件	25	

事業内容

- 海岸施設等管理業務
 - 海岸施設維持管理業務委託
各施設等清掃業務委託
各海岸、海浜利便施設を快適に利用いただけるよう、海岸、海岸休憩施設の清掃業務を委託する。
 - 駐車場集金・管理業務委託
各海岸休憩施設駐車場について、集金及び管理を業務委託する。
 - 大蔵海岸施設指定管理業務(公園、海浜等、駐車場、多目的広場)及び大蔵海岸海水浴場開設・運営業務委託
大蔵海岸公園全体の管理運営について、指定管理者制度を導入し、大蔵海岸施設として一体管理を行う。
指定管理業務とは別に、大蔵海岸海水浴場開設・運営業務についても、指定管理者に業務委託する。
- 安全対策工事等
各施設及び海水浴場を安全かつ快適に利用していただけるよう、安全対策工事等を行う。
- 海浜利便施設等修繕業務、看板設置等
海浜利便施設の設備の破損等があれば、迅速に補修・修繕を行う。
各施設の特長・環境に合わせて、案内看板や注意喚起を促す看板等を設置している。
- 海岸利用活性化
大蔵海岸指定管理者の自主事業をはじめ、様々なイベントを実施することにより、大蔵海岸の利用の活性化を図る。
海水浴場開設補助金交付 海水浴場開設に係る支援を実施する。
【林崎・松江海水浴場客数】 平成26年度 約25,000人 平成27年度 約27,000人 平成28年度 約29,000人
【大蔵海岸海水浴場客数】 平成26年度 約183,000人 平成27年度 約201,000人 平成28年度 約213,000人
大蔵海岸多目的広場の利用者数
平成26年度(9月オープン) 15,165人、平成27年度 43,673人、平成28年度 50,883人
- 海岸施設維持補修件数
パトロール等で発見した補修必要箇所の対応件数(維持管理事業修繕料執行件数)
平成26年度 27件、平成27年度 25件、平成28年度 29件、平成29年度 7件(6月末時点)

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				29年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
27決算	207,023	13,460	220,483	1,380	9,800	55,171	154,132	正規	3.30	アルバイト	0.00
28当初予算	210,938	18,350	229,288	1,380	7,000	49,430	171,478	再任用	0.40	その他	0.00
28決算	209,345	18,350	227,695	1,235	7,800	73,766	144,894	任期付	0.30	合計	4.00
29当初予算	235,101	28,900	264,001	4,860	23,800	69,800	165,541				

区分(節)	内容	金額	区分(節)	内容	金額
需用費	修繕料、光熱水費等	6,894	需用費	修繕料、光熱水費等	21,580
委託料	指定管理料、施設清掃業務等	185,963	委託料	指定管理料、施設清掃業務等	188,240
工事請負費	施設安全対策等改修工事、補修工事等	10,495	使用料及び賃借料	中崎展望広場駐車場占用料等	4,478
原材料費	大蔵海岸白砂原材料費	3,999	工事請負費	施設安全対策等改修工事、補修工事等	12,800
備品購入費	大蔵海岸海水浴場関連資材(オイルフェンス)購入費等	1,468	原材料費	大蔵海岸白砂原材料費	4,000
その他	海水浴場開設事業補助金、動産総合保険	526	その他	大蔵海岸海水浴場オイルフェンス購入費、海水浴場開設事業補助金等	4,003
合計		209,345	合計		235,101

平成29年度 事務事業点検シート

整理番号	0157102000-002	事務事業名	海岸施設維持管理事業
------	----------------	-------	------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			27年度	28年度	29年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	海岸施設維持補修件数	パトロール等で発見した補修必要箇所の対応件数(維持管理事業修繕料執行件数)			25	29	25
		平成29年	件	25			
指標で表せない成果							
海浜利便施設を安全に安心して、快適に利用できるよう、維持管理を実施している。							

事業の評価・今後の方向性	観点 (満たしていない観点に「×」)					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
<ul style="list-style-type: none"> ・海浜利便施設等の維持管理において中心となる事業であり、利用者の安全確保、利便性の向上を図るため、これまでどおり事業を継続していく。 ・各海岸の利用促進を図るため、関係機関と協議しながら利便施設等の改修、拡充を実施していく。 						

平成29年度 事務事業点検シート

事務事業名	明石港再整備事業			新規/継続	継続事業	整理番号	0157102000 - 003					
				分割/統合								
関連予算科目	会計	一般会計			事業の分割/統合の内容							
	款	土木費			事業所管課		都市局都市整備室海岸課					
	項	土木管理費			連絡先		(078)918-5042					
	目	海岸海域整備事業対策費			自治/法定		自治事務	開始年度	不明			
	事業	明石港再整備事業			根拠法令・要綱等		明石市事務分掌規則					
施策分野		5 都市基盤整備分野			実施方法		直営	○	補助・助成	○	その他	
個別計画		5-3 海辺の利活用の推進					委託		指定管理			

事業の目的・目標	目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）											
	海上交通や荷揚げ場、漁業基地など多様な役割を担っている明石港を中心市街地活性化の核のひとつとなる場所と位置づけ、誰もが楽しめるような魅力ある空間として再生を図る。											
	成果指標											
	指標名	考え方・定義・式				目標年次	単位	目標値				

事業内容	1 明石港再整備事業にかかる一般事務経費 2 明石港西外港地区において国が実施する防潮堤整備事業とあわせ、市が周辺整備を行う。 3 明石港西外港地区の防潮堤整備に係る関係機関との調整を行う。											
------	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				29年度人員配置（人）			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
27決算	110,125	18,950	129,075	33,900	50,800	1,524	42,851	正規	1.25	アルバイト	0.00
28当初予算	110	7,920	8,030	0	0	0	8,030	再任用	0.00	その他	0.00
28決算	2,932	7,920	10,852	0	0	0	10,852	任期付	0.05	合計	1.30
29当初予算	15,110	10,260	25,370	0	15,000	0	10,370				

28年度決算事業費明細	区分（節）	内容	金額	29年度当初予算事業費明細	区分（節）	内容	金額
		旅費	近接地旅費		16		旅費
	委託料	明石港西外港地区 防潮堤周辺整備概略検討業務	2,916		需用費	事務用品等	30
					委託料	明石港西外港地区 詳細設計業務	15,000
					使用料及び賃借料	会議室使用料	10
	合計		2,932		合計		15,110

平成29年度 事務事業点検シート

整理番号	0157102000-003	事務事業名	明石港再整備事業
------	----------------	-------	----------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			27年度	28年度	29年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
指標で表せない成果							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点に「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
明石港を中心市街地活性化の核のひとつとなる場所として、国・県等の関係機関と協議しながら整備構想を検討していく。						

平成29年度 事務事業点検シート

事務事業名	安全・安心な海岸づくり事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0157102000 - 004			
		分割/統合						
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容					
	款	土木費		事業所管課	都市局都市整備室海岸課			
	項	土木管理費			連絡先	(078)918-5042		
	目	海岸海域整備事業対策費		自治/法定		自治事務	開始年度	平成 29 年度
	事業	安全・安心な海岸づくり事業						
施策分野	5 都市基盤整備分野 5-3 海辺の利活用の推進	根拠法令・要綱等	明石市海浜の利用並びに海浜利便施設の設置及び管理に関する条例(以下、海浜利用条例。)及び同施行規則、明石市の環境の保全及び創造に関する基本条例(以下、環境基本条例。)					
個別計画			実施方法	直営	<input type="radio"/>	補助・助成	<input type="checkbox"/>	その他
		委託		<input type="radio"/>	指定管理	<input type="checkbox"/>		

事業の目的・目標
目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）
 海岸利用者のマナー向上を推進する取り組みを中心に、地域や海岸モニターからの情報も活用し安全に安心して、大勢の利用者が親しめる海岸づくりを進めていく。また、海岸利用に関する啓発活動を中心とした安全・安心対策を実施する。

成果指標				
指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値
海岸利用啓発業務(夜間)における指導件数	夜10時以降の花火件数	平成32年	件	0
海岸モニターからの報告件数	国、県、市の各管理施設に関する情報の件数	平成29年	件	40

(従前の「海岸モニター事業」、「海岸施設等安全対策事業」、「海岸利用マナーアップ推進事業」を平成29年度より統合)

1 海岸利用啓発業務
 【昼間】
 海浜利用条例により重点管理区域及びバーベキュー等禁止区域を指定した林崎海岸及び松江海岸の一部に啓発誘導員を配置し、海岸利用者に対して、バーベキュー可能エリアへの誘導、ごみの持ち帰りなどマナーアップの啓発等を実施する。
 【夜間】
 林崎海岸から西岡海岸までの海岸部において、啓発誘導員を配置し、夜間の海岸利用に係るマナーアップの啓発活動、夜間花火禁止(午後10時から日の出まで)の啓発、指導、バーベキュー可能エリアへの誘導、ごみの持ち帰りなどマナーアップの啓発等を実施する。
 <海岸利用啓発業務における啓発件数>
 【昼間】林崎海岸、松江海岸におけるバーベキュー等利用件数
 平成26年度1,246件(4/26~9/28)、平成27年度1,343件(4/26~9/28)、平成28年度1,355件(4/23~10/10)、平成29年度414件(6月末時点)
 【夜間】夜間花火を禁止している時間帯(夜10時以降)における花火件数
 平成26年度 156件、平成27年度190件、平成28年度209件、平成29年度6件(6月末時点)

2 海岸モニター制度
 海岸モニターに委嘱された者から、海岸の危険箇所その他の変状やウミガメに関する情報を募り、その情報をもとに管理体制の充実強化を図り、より安全で快適な海岸づくりを進める。
 【報告件数:平成26年度22件、平成27年度39件、平成28年度14件、平成29年度12件(6月末時点)】

3 海浜利便施設等修繕
 安全点検に基づく補修必要箇所の修繕を実施する。

4 夏期海岸利用安全対策
 遊泳者と水上バイクの混在による事故を防止するため、遊泳者・水上バイク利用者への啓発看板を設置する。

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				29年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
27決算	8,063	7,680	15,743	0	0	0	15,743	正規	2.10	アルバイト	0.00
28当初予算	10,391	9,080	19,471	0	0	0	19,471	再任用	0.25	その他	0.00
28決算	12,539	9,080	21,619	0	0	0	21,619	任期付	0.15	合計	2.50
29当初予算	14,934	18,265	33,199	0	0	0	33,199				

区分(節)	内容	金額	29年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
委託料	海岸利用啓発業務(昼間及び夜間)	9,979	委託料	海岸利用啓発業務(昼間及び夜間)	12,000	
工事請負費	夏期海岸利用安全対策工事	1,446	工事請負費	夏期海岸利用安全対策工事	1,500	
使用料及び賃借料	海岸モニター説明会等会議室使用料	11	使用料及び賃借料	海岸モニター説明会等会議室使用料	23	
合計		12,539		合計		14,934

平成29年度 事務事業点検シート

整理番号	0157102000-004	事務事業名	安全・安心な海岸づくり事業		
------	----------------	-------	---------------	--	--

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			27年度	28年度	29年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	海岸利用啓発業務(夜間)における指導件数	夜10時以降の花火件数			190	209	212
		平成32年	件	0			
	海岸モニターからの報告件数	国、県、市の各管理施設に関する情報の件数			37	14	40
		平成29年	件	40			
指標で表せない成果							

事業の評価・今後の方向性	観点 (満たしていない観点に「×」)					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
海岸でのバーベキューや夜間花火など、近隣住民の生活環境に影響を及ぼす利用について、現地に啓発員を配置し、利用マナー及び環境美化に関して向上できるよう啓発を実施している。今後は、平成26年4月に改正した海浜利用条例を啓発、周知するとともに、次年度以降の現地啓発員の配置期間、人員等を検討していく。						

平成29年度 事務事業点検シート

事務事業名	港湾管理一般事務事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0157102000 - 005				
		分割/統合							
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容						
	款	土木費		事業所管課	都市局都市整備室海岸課				
	項	港湾費		連絡先	(078)918-5042				
	目	港湾管理費		自治/法定	自治事務	開始年度	不明		
	事業	港湾管理一般事務事業		根拠法令・要綱等	明石市事務分掌規則				
施策分野	5 都市基盤整備分野		実施方法	直営	○	補助・助成	○	その他	
	5-3 海辺の利活用の推進			委託		指定管理			
個別計画									

事業の目的・目標	目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）				
	港湾所在地自治体として、港湾施設の整備促進及び利用改善の要望を関係機関に行うとともに、指定港湾統計調査の受託事務を行う。				
	成果指標				
	指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値

事業内容	1 各協会総会等への出席 加盟する各協会の総会等へ出席 全国の港湾行政の動向の情報収集 2 港湾防潮ゲート 出水期前に防潮ゲートの点検、簡易補修を実施 3 港湾統計調査の受託事務を行う 4 運営補助 みなと記念ホール運営補助金交付				

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				29年度人員配置（人）			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
27決算	1,926	4,550	6,476	182	0	0	6,294	正規	0.40	アルバイト	0.00
28当初予算	2,364	6,120	8,484	182	0	0	8,302	再任用	0.20	その他	0.00
28決算	1,703	6,120	7,823	183	0	0	7,640	任期付	0.20	合計	0.80
29当初予算	1,964	4,460	6,424	182	0	0	6,242				

28年度決算事業費明細	区分（節）	内容	金額	29年度当初予算事業費明細	区分（節）	内容	金額
	旅費	各加盟協会総会等旅費	54		旅費	各加盟協会総会等旅費	200
	需用費	事務用品、防潮ゲート点検修繕料等	59		需用費	事務用品、防潮ゲート点検修繕料等	340
	使用料及び賃借料	会議室使用料	1		使用料及び賃借料	会議室使用料	15
	負担金補助及び交付金	各加盟協会年会費等、みなと記念ホール運営補助金	1,589		負担金補助及び交付金	各加盟協会年会費等、みなと記念ホール運営補助金	1,409
	合計		1,703		合計		1,964

平成29年度 事務事業点検シート

整理番号	0157102000-005	事務事業名	港湾管理一般事務事業
------	----------------	-------	------------

事業 の 成 果	指標名	考え方・定義・式			27年度	28年度	29年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
指標で表せない成果							
<ul style="list-style-type: none"> ・港湾関連業務にもたらした効果 ・各協会への加盟、総会等出席による、効果的な情報収集 							

事業 の 評 価 ・ 今 後 の 方 向 性	観点（満たしていない観点に「×」）					
	不可欠性	市が実施する 必要性	有効性	金額の 妥当性	公平性	優先性・ 緊急性
				×		
現状の課題・今後の事業展開方針等						
<p>みなと記念ホール運営費補助金について、みなと記念ホール運営委員会との協議が整い、補助金の交付を平成32年度を最終年度として、段階的に削減していく。また、今後の事業削減を進めていく。</p>						

平成29年度 事務事業点検シート

事務事業名		港湾環境美化事業		新規/継続	継続事業	整理番号	0157102000 - 006		
				分割/統合					
関連 予算 科目	会計	一般会計		事業の分割/ 統合の内容					
	款	土木費		事業所管課	都市局都市整備室海岸課				
	項	港湾費		連絡先	(078)918-5042				
	目	港湾管理費		自治/法定	自治事務	開始年度	不明		
	事業	港湾環境美化事業		根拠法令 ・要綱等	地方自治法				
施策分野		5 都市基盤整備分野		実施方法	直営		補助・助成		その他
		5-3 海辺の利活用の推進			委託	○	指定管理		
個別計画									
事業の 目的・ 目標	目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）								
	東播磨港港湾区域内の清掃等の実施することにより、海岸環境を美化し、周辺地域の生活環境の保全を図る。								
	成果指標								
	指標名	考え方・定義・式			目標年次	単位	目標値		
事業 内容	1 東播磨港海岸清掃業務 東播磨港海岸に漂着した海藻や、ごみ等の収集運搬業務を委託								
	2 南二見防潮堤等集積ごみ収集運搬業務 南二見防潮堤管理用通路に設置しているごみカゴに集積されたごみの収集運搬業務を委託								
	3 海岸施設樹木等維持管理業務 東播磨港海岸施設の樹木剪定等の業務を委託								
	4 東播磨港港湾区域内緑地等清掃業務 東播磨港港湾区域内の緑地等の清掃業務を委託								

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				29年度人員配置（人）			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
27決算	10,315	3,990	14,305	5,168	0	0	9,137				
28当初予算	10,336	3,990	14,326	5,168	0	0	9,158	正規	0.50	アルバイト	0.00
28決算	10,313	3,990	14,303	5,168	0	0	9,135	再任用	0.05	その他	0.00
29当初予算	10,336	4,355	14,691	5,168	0	0	9,523	任期付	0.05	合計	0.60

28年度 決算 事業費 明細	区分（節）	内容	金額	29年度 当初 予算 事業費 明細	区分（節）	内容	金額
		委託料	港湾環境美化事業(清掃業務、樹木等維持管理業務)		10,313		委託料
	合計		10,313		合計		10,336

平成29年度 事務事業点検シート

整理番号	0157102000-006	事務事業名	港湾環境美化事業
------	----------------	-------	----------

事業 の 成 果	指標名	考え方・定義・式			27年度	28年度	29年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
指標で表せない成果							
東播磨港湾区域内各地の清掃及び樹木剪定を定期的に行い、港湾環境の美化に努めている。							

事業 の 評 価 ・ 今 後 の 方 向 性	観点（満たしていない観点に「×」）					
	不可欠性	市が実施する 必要性	有効性	金額の 妥当性	公平性	優先性・ 緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
今後も快適に利用いただけるように事業を継続していく。						

平成29年度 事務事業点検シート

事務事業名	県施行港湾改良等事業負担金			新規/継続	継続事業	整理番号	0157102000 - 007			
				分割/統合						
関連 予算 科目	会計	一般会計			事業の分割/ 統合の内容					
	款	土木費								
	項	港湾費			事業所管課	都市局都市整備室海岸課				
	目	港湾建設費			連絡先	(078)918-5042				
	事業	県施行港湾改良等事業負担金			自治/法定	自治事務	開始年度	不明		
施策分野		5 都市基盤整備分野			根拠法令 ・要綱等		地方財政法			
		5-3 海辺の利活用の推進								
個別計画					実施方法		直営	補助・助成	その他 ○	
							委託	指定管理		

事業の 目的・ 目標	目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）				
	兵庫県施行の港湾関係建設事業について、地方財政法第27条の規定に基づいて経費の一部を負担する。				
	成果指標				
	指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値

事業 内容	県単港湾改良事業に係る地元市負担金（整備事業費の15%）			
	<ul style="list-style-type: none"> ●明石港 ・海苔加工場移転に伴う道路整備 			

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				29年度人員配置（人）			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
27決算	450	1,640	2,090	0	0	0	2,090				
28当初予算	600	1,640	2,240	0	0	0	2,240	正規	0.20	アルバイト	0.00
28決算	600	1,640	2,240	0	0	0	2,240	再任用	0.00	その他	0.00
29当初予算	2,250	1,620	3,870	0	2,200	0	1,670	任期付	0.00	合計	0.20

28年度 決算 事業費 明細	区分（節）	内容	金額	29年度 当初 予算 事業費 明細	区分（節）	内容	金額
		負担金補助及び交付金	県施行港湾改良等事業地元負担金		600		負担金補助及び交付金
	合計		600		合計		2,250

平成29年度 事務事業点検シート

整理番号	0157102000-007	事務事業名	県施行港湾改良等事業負担金
------	----------------	-------	---------------

事業 の 成 果	指標名	考え方・定義・式			27年度	28年度	29年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
指標で表せない成果							
県施行事業による市内港湾区域の整備効果として表される。							

事業 の 評 価 ・ 今 後 の 方 向 性	観点（満たしていない観点に「×」）					
	不可欠性	市が実施する 必要性	有効性	金額の 妥当性	公平性	優先性・ 緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
兵庫県と協議、調整しながら事業を継続していく。						

平成29年度 事務事業点検シート

事務事業名	展望広場維持管理事業	新規/継続	H28休廃止	整理番号	0157102000 - 008	
		分割/統合				
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容			
	款	土木費				
	項	土木管理費				
	目	海岸海域整備事業対策費				
	事業	海岸施設維持管理事業				
施策分野	5 都市基盤整備分野	事業所管課	都市局都市整備室海岸課			
	5-3 海辺の利活用の推進		連絡先	(078)918-5042		
個別計画		自治/法定		自治事務		開始年度
			根拠法令・要綱等	地方自治法、明石市海浜の利用並びに海浜利便施設の設置及び管理に関する条例及び同条例施行規則		
		実施方法		直営		補助・助成
			委託	○	指定管理	

事業の目的・目標	目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）				
	中崎展望広場の秩序ある適正な利用を図るため、緑地の清掃等の管理を行う。また、中崎展望広場駐車場の適正な運営管理を行う。				
	成果指標				
	指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値

事業内容	1 展望広場駐車場の維持管理 兵庫県から駐車場部分の使用許可を受け、適正な駐車場の管理運営を実施する。
	2 展望広場清掃業務 展望広場の日常清掃業務を委託
	3 樹木等維持管理業務 展望広場の樹木剪定等の業務を委託
	4 駐車場設備保守業務 展望広場駐車場の適正な運営・管理のため、駐車場機器の定期点検、故障修理、障害対応の業務を委託

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				29年度人員配置（人）		
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源			
27決算	8,429	4,380	12,809	1,680	0	18,497	-7,368			
28当初予算	10,962	4,400	15,362	1,680	0	15,000	-1,318	正規		アルバイト
28決算	8,858	4,400	13,258	1,680	0	17,200	-5,622	再任用		その他
29当初予算								任期付		合計

28年度決算事業費明細	区分（節）	内容	金額	29年度当初予算事業費明細	区分（節）	内容	金額
	需用費	駐車券、修繕料等	874				
	役務費	動産総合保険	10				
	委託料	施設維持管理業務等	3,619				
	使用料及び賃借料	中崎展望広場駐車場占用料	4,355				
	合計		8,858		合計		

平成29年度 事務事業点検シート

整理番号	0157102000-008	事務事業名	展望広場維持管理事業
------	----------------	-------	------------

事業 の 成 果	指標名	考え方・定義・式			27年度	28年度	29年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
							/
							/
指標で表せない成果							
中崎展望広場を快適に利用できるよう維持管理を実施している。							

事業 の 評 価 ・ 今 後 の 方 向 性	観点（満たしていない観点に「×」）					
	不可欠性	市が実施する 必要性	有効性	金額の 妥当性	公平性	優先性・ 緊急性
	平成28年度限りで休廃止					
	現状の課題・今後の事業展開方針等					
平成28年度限りで休廃止						

平成29年度 事務事業点検シート

事務事業名	アカウミガメ保護関連事業	新規/継続	H28休廃止	整理番号	0157102000 - 009		
		分割/統合					
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容				
	款	土木費		事業所管課	都市局都市整備室海岸課		
	項	土木管理費		連絡先	(078)918-5042		
	目	海岸海域整備事業対策費		自治/法定	自治事務	開始年度	不明
	事業	アカウミガメ保護関連事業		根拠法令・要綱等	明石市海浜の利用並びに海浜利便施設の設置及び管理に関する条例		
施策分野	4 生活・環境分野		実施方法	直営	○	補助・助成	その他
	4-3 環境の保全と創造			委託		指定管理	
個別計画							

事業の目的・目標	目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）				
	明石市内の海岸に産卵に訪れるアカウミガメの保護活動を行う。また、ウミガメに関連する民間団体・行政団体との情報交換等協力関係を構築し、明石市の海岸環境保全及びウミガメ保護活動をPRしていく。				
	成果指標				
	指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値
	出前講座開催数	出前講座の開催数により、アカウミガメをはじめ海岸環境への興味、意識の高さを図ることができる。	平成32年	件	10

事業内容	1 出前講座 ウミガメを題材に、明石の海岸環境保全の取り組みを紹介 開催回数【平成24年度 2回、平成25年度 2回、平成26年度 2回、平成27年度 1回、平成28年度 3回】
	2 アカウミガメ保護活動等 海浜利用者からアカウミガメの産卵情報があつた場合、関係機関の技術サポートを受け、産卵箇所を確認する。同時に、産卵地保護のためフェンスを設置する。孵化の際、できる限り自然に近い形でアカウミガメの赤ちゃんが海に向かえるよう、保護活動に取り組んでいる。また、砂中にCCDカメラを設置し、孵化の様子や子ガメの脱出の様子をインターネットで発信する。 (平成20年度) ・松江海岸で、明石市で3年ぶりにアカウミガメの産卵を確認 産卵地保護のためのフェンスを設置し、孵化の際に、子ガメの脱出状況をインターネットで発信 ・日本ウミガメ会議を明石市で開催 (平成22年度) ・アカウミガメの産卵確認なし (中崎ペランダにてアカウミガメの個体漂着あり) (平成23年度) ・アカウミガメの産卵確認なし (情報募集看板の更新2箇所及び新設2箇所) (平成24年度) ・アカウミガメの産卵確認なし (大蔵海岸海水浴場にて、須磨海浜水族園よりアカウミガメ3個体を借りてタッチプール等のイベントを実施した。) (平成26年度) ・望海浜で、明石市で6年ぶりにアカウミガメの産卵を確認 産卵地保護のためのフェンスを設置し、孵化の際に、子ガメの脱出状況をインターネットで発信 ・市内の小学生親子(延べ87人)を対象にウミガメを通じて命の大切さ、明石の自然環境の素晴らしさを啓発するため、夏休み親子自由研究「ウミガメの巻」を開催 (平成27年度) ・アカウミガメの産卵確認なし (大蔵海岸にてアウミガメの個体漂着あり) (平成28年度) ・アカウミガメの産卵確認なし (神戸垂水区東舞子町 移情閣すぐ南の沖合にてアカウミガメ死亡個体の漂流あり)

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				29年度人員配置(人)		
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源			
27決算	0	3,170	3,170	0	0	0	3,170			
28当初予算	320	1,940	2,260	0	0	0	2,260	正規	アルバイト	
28決算	3	1,940	1,943	0	0	0	1,943	再任用	その他	
29当初予算								任期付	合計	

28年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	29年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	需用費	ウミガメに関する出前講座用資材	3				
合計			3	合計			

平成29年度 事務事業点検シート

整理番号	0157102000-009	事務事業名	アカウミガメ保護関連事業
------	----------------	-------	--------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			27年度	28年度	29年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	出前講座開催数	出前講座の開催数により、アカウミガメをはじめ海岸環境への興味、意識の高さを図ることができる。			3	3	/
		平成32年	件	10			
指標で表せない成果							
ウミガメの保護を通じて、自然や命の大切さを広く啓発するとともに、出前講座ではアカウミガメが産卵に訪れる海岸環境の保全、改善に向け、環境及び美化に関する意識の啓発も実施している。							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
	平成28年度限りで休廃止					
	現状の課題・今後の事業展開方針等					
	平成28年度限りで休廃止					

平成29年度 事務事業点検シート

事務事業名	交通安全施設整備事業	新規/継続	H28休廃止	整理番号	0157102000 - 010		
		分割/統合					
関連 予算 科目	会計	一般会計	事業の分割/ 統合の内容				
	款	土木費	事業所管課	都市局都市整備室海岸課			
	項	交通安全対策費	連絡先	(078)918-5042			
	目	交通安全施設整備費	自治/法定	自治事務	開始年度	平成 28 年度	
	事業	交通安全施設整備事業	根拠法令 ・要綱等				
施策分野		実施方法	直営	○	補助・助成	その他	
個別計画			委託		指定管理		

事業の 目的・ 目標	目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）				
	藤江海岸斜面地における転落防止柵の劣化が進行しているため、更新工事を実施した。				
	成果指標				
	指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値

事業 内容	藤江海岸斜面地の転落防止柵の更新工事を実施した。(転落防止柵 L=445m)				

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				29年度人員配置（人）		
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源			
27決算	0	0	0	0	0	0	0	正規	アルバイト	
28当初予算	0	0	0	0	0	0	0	再任用	その他	
28決算	14,247	0	14,247	0	0	0	14,247	任期付	合計	
29当初予算										

28 年度 決算 事業 費 明 細	区分（節）	内容	金額	29 年度 当 初 予 算 事 業 費 明 細	区分（節）	内容	金額
	工事請負費	藤江海岸斜面地 転落防止柵更新工事	14,247				
	合計		14,247		合計		

平成29年度 事務事業点検シート

整理番号	0157102000-010	事務事業名	交通安全施設整備事業
------	----------------	-------	------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			27年度	28年度	29年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
指標で表せない成果							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点に「×」）					
	不可欠性	市が実施する 必要性	有効性	金額の 妥当性	公平性	優先性・ 緊急性
	平成28年度限りで休廃止					
現状の課題・今後の事業展開方針等						
平成28年度限りで休廃止						

平成29年度 事務事業点検シート

事務事業名	公園維持管理事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0157103000 - 001		
		分割/統合					
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容				
	款	土木費					
	項	都市計画費					
	目	公園費					
	事業	公園維持管理事業					
施策分野	5 都市基盤整備分野		事業所管課	都市局都市整備室緑化公園課			
	5-4 公園の整備・緑化の推進		連絡先	(078)918-5039			
個別計画	緑の基本計画		自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 45 年度	
根拠法令・要綱等	都市公園法						
							実施方法
		委託		○	指定管理		

目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）
 市内の公園等を利用する不特定多数の市民に対し、公園等を公の施設として供するため適切に保全し、公園利用者が安全で安心して公園施設等を利用できるようにする。また、地域のニーズに適合した管理に努め、地域の方々がより一層公園を使用したいと思える魅力ある公園にする。

成果指標				
指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値
施設の不具合による事故件数	適切な日常管理と安全点検により、事故を未然に防止し、安全管理の指標とする。	平成29年度	件	0

事業内容

①市内約450箇所の公園や緑地に存する植栽を含む公園施設を保全するため、直営および業者により、公園施設の修繕業務や剪定・除草業務等を行う。
 ②公園等の清掃や除草、灌水作業等の日常管理は、地域住民で構成された「公園愛護会（約270団体）」による活動やシルバー人材センターへの業務委託で実施し、公園等の健全な状態を保持する。

【平成27年度主な委託・工事等】
 ①明石川左岸線緑地休憩施設整備工事
 ②石ヶ谷公園あそびの丘法面改修工事
 ③公園樹木等維持管理業務委託
 ④公園施設等の修繕

【平成28年度主な委託・工事等】
 ①石ヶ谷公園ほか園路補修等工事
 ②東藤江サクラ公園ほか藤棚更新工事
 ③公園樹木等維持管理業務委託
 ④公園施設等の修繕

【平成29年度主な委託・工事等】
 ①明石中央体育会館屋上防水改修工事
 ②谷八木1号公園フェンス設置工事
 ③公園樹木等維持管理業務委託
 ④公園施設等の修繕

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				29年度人員配置（人）			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
27決算	220,330	183,058	403,388	0	0	5,057	398,331	正規	18.39	アルバイト	0.00
28当初予算	240,626	175,359	415,985	0	11,000	4,789	400,196	再任用	6.00	その他	0.00
28決算	217,445	175,359	392,804	0	6,800	5,923	380,081	任期付	1.00	合計	25.39
29当初予算	248,312	171,959	420,271	0	9,900	10,221	400,150				

28年度決算事業費明細	区分（節）	内容	金額	29年度当初予算事業費明細	区分（節）	内容	金額
	報償費	公園愛護会に対する報償金等	9,670		報償費	公園愛護会に対する報償金等	9,913
需用費	消耗品・印刷製本・修繕・燃料・食糧・光熱水費	50,589	需用費	消耗品・印刷製本・修繕・燃料・食糧・光熱水費	66,648		
委託料	公園樹木等維持管理業務委託ほか	113,046	委託料	公園樹木等維持管理業務委託ほか	124,504		
使用料及び賃借料	コピー使用料ほか	2,422	使用料及び賃借料	コピー使用料ほか	1,100		
工事請負費	石ヶ谷公園ほか園路補修等工事ほか	38,526	工事請負費	明石中央体育会館屋上防水改修工事ほか	35,900		
その他	旅費・役務費・備品購入費・負担金補助及び交付金	3,192	その他	旅費・役務費・備品購入費・負担金補助及び交付金、公課費	10,247		
合計			217,445	合計			248,312

平成29年度 事務事業点検シート

整理番号	0157103000-001	事務事業名	公園維持管理事業
------	----------------	-------	----------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			27年度	28年度	29年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	施設の不具合による事故件数	適切な日常管理と安全点検により、事故を未然に防止し、安全管理の指標とする。			0	0	0
		平成29年度	件	0			
指標で表せない成果							
・公園に対する苦情や要望が多様化する中、経費の削減を図りながら、市民サービスが低下しないように迅速かつ安全で適切な公園の管理を行なっている。							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点に「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
市内に約450箇所ある公園や緑地において、来園者が安全で安心して利用できるように努めている。特に、幼児や児童が利用する遊具等の公園施設は、点検業務を充実させている。また、市民との協働事業の一つである公園愛護会や花壇コンクールなどを活用し、魅力ある安全で安心な公園を維持している。 今後、市民との協働事業をさらに拡充し、限られた予算の範囲内で市民の方々からより安全で親しまれる公園を目指していく。						

平成29年度 事務事業点検シート

事務事業名	指定管理者維持管理委託事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0157103000 - 002			
		分割/統合						
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容					
	款	土木費		事業所管課	都市局都市整備室緑化公園課			
	項	都市計画費			連絡先	(078)918-5039		
	目	公園費		自治/法定		自治事務	開始年度	平成 18 年度
	事業	公園維持管理事業						
施策分野	5 都市基盤整備分野		根拠法令・要綱等	地方自治法、都市公園法、明石市都市公園条例、明石市公の施設に係る指定管理者の指定手続等に関する条例				
	5-4 公園の整備・緑化の推進			実施方法	直営	補助・助成	その他	
個別計画	緑の基本計画		委託		指定管理	○		

目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）
 石ヶ谷公園、明石海浜公園、魚住北公園のスポーツ施設利用者及び来園者をはじめ、市民のやすらぎと健康の増進を図り、市民の誰もが身近にスポーツに親しみ、楽しむことができるスポーツ活動の拠点として、並びに市民の憩いの場として、多くの市民に総合公園等を利用していただくため、適正な維持管理を行い快適な公園施設として運営する。

成果指標					
指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値	
有料公園施設の利用人数	市民のスポーツ・文化の拠点施設の一つである石ヶ谷公園・海浜公園（プール含む）・魚住北公園の有料公園施設を利用した人数を成果指標とする。	平成32年度	人	280,000	
スポーツ施設の利用率	市民のスポーツの拠点施設の一つである石ヶ谷公園・海浜公園（プール除く）・魚住北公園の貸館施設の利用率を成果指標とする。	平成32年度	%	50	

事業内容

・管理運営業務
 ①維持管理業務【対象施設[石ヶ谷公園(13.9ha)、明石海浜公園(19.9ha)、魚住北公園(1.3ha)内の建物、施設、設備及び植樹等の公園部分]の維持管理】
 ②貸館業務等【対象施設[中央体育会館(第1競技場・第2競技場・会議室3室)、明石海浜公園(テニスコート8面、運動場、臨時球技場、屋内競技場、会議室2室、プール、駐車場)、魚住北公園(テニスコート3面、多目的広場)]の貸館等】
 ③自主事業【バレー、卓球、バドミントンなどのスポーツ種目の他、わんぱくキッズスポーツ教室など、幼児から高齢者までを対象とした多彩な教室等】

【平成27年度】
 ・市内居住又は通学する小学生の明石海浜プールの入場料無料化を引き続き実施した。
 ・石ヶ谷公園において、バーベキュー許可エリアの運営を実施した。

【平成28年度】
 ・石ヶ谷公園において、提案事業であった、ひだまりの広場を全面オープンした。
 ・市内に居住又は通学する小学生の明石海浜プールの入場料無料化及びバーベキュー許可エリアの運営を実施した。

【平成29年度】
 ・中央体育会館のトレーニングルームを主にシニア層を対象としたトレーニングルームにリニューアル予定。
 ・市内に居住又は通学する小学生の明石海浜プールの入場料無料化及びバーベキュー許可エリアの運営を実施する。

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				29年度人員配置（人）			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
27決算	224,983	30,506	255,489	0	0	71,959	183,530	正規	3.74	アルバイト	0.00
28当初予算	226,328	31,773	258,101	0	0	67,880	190,221	再任用	0.00	その他	0.00
28決算	224,249	31,773	256,022	0	0	72,130	183,892	任期付	0.60	合計	4.34
29当初予算	230,960	31,854	262,814	0	0	71,727	191,087				

区分（節）	内容	金額	28年度当初予算事業費明細	29年度当初予算事業費明細	区分（節）	内容	金額
委託料	指定管理料	223,986			委託料	指定管理料	230,960
報償費	選定委員会委員報償	260					
需用費	選定委員会委員お茶	3					
合計		224,249			合計		230,960

平成29年度 事務事業点検シート

整理番号	0157103000-002	事務事業名	指定管理者維持管理委託事業
------	----------------	-------	---------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			27年度	28年度	29年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	有料公園施設の利用人数	市民のスポーツ・文化の拠点施設の一つである石ヶ谷公園・海浜公園(プール含む)・魚住北公園の有料公園施設を利用した人数を成果指標とする。			269,989	262,342	270,000
		平成32年度	人	280,000			
	スポーツ施設の利用率	市民のスポーツの拠点施設の一つである石ヶ谷公園・海浜公園(プール除く)・魚住北公園の貸館施設の利用率を成果指標とする。			50	49	50
		平成32年度	%	50			
指標で表せない成果							
石ヶ谷公園・明石海浜公園・魚住北公園の大部分は多くの市民が気軽に様々な目的で利用できる無料公園施設であり、市民の憩いの場として文化・レクリエーション活動や健康増進に大きく寄与している。							

事業の評価・今後の方向性	観点 (満たしていない観点に「×」)					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
<p>石ヶ谷公園、明石海浜公園、魚住北公園の3公園は、体育館、テニスコート、グラウンドおよびプールなどの有料公園施設を有していることから、よりきめ細かな市民サービスが求められている。</p> <p>平成18年度から指定管理者制度を導入し、民間事業者のノウハウを活かしたサービス向上や管理運営費の縮減を行い、効率化を図るとともに市民満足度も向上している。また、平成24年度からは、3公園の維持管理運営を共同事業体による一括管理としたことにより、高水準で均一的なサービスが提供できるようになった。</p> <p>今後も公園利用者の安全を確保し、既存施設を適切に管理することで、公園施設の延命化を図り施設更新費用の抑制に努める。</p>						

平成29年度 事務事業点検シート

事務事業名	都市公園整備事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0157103000 - 003		
		分割/統合					
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容				
	款	土木費					
	項	都市計画費					
	目	公園費					
	事業	都市公園整備事業					
施策分野	5 都市基盤整備分野	事業所管課	都市局都市整備室緑化公園課				
	5-4 公園の整備・緑化の推進		連絡先	(078)918-5039			
個別計画	緑の基本計画	自治/法定		自治事務	開始年度	不明	
			根拠法令・要綱等	土地区画整理法第4条第1項			
実施方法	直営	○		補助・助成		その他	
	委託	○	指定管理				

事業の目的・目標	目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）				
	都市環境の改善や防災、良好な景観の形成に寄与するとともに、多様なレクリエーション活動の場、コミュニティ活動の場となるよう、土地区画整理事業で確保した用地に都市公園を整備する。				
	成果指標				
	指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値
明石市民一人あたりの都市公園面積	都市公園面積を人口で除したもの	平成32年度	m ²	7.50	

事業内容	街区公園の整備
	整備内容: 多目的広場、植栽、遊戯施設ほか
	整備実績と予定
	平成26年度 茜1丁目公園、西脇公園、大久保駅北公園、大久保駅東公園(27年度へ繰越)
	平成27年度 -
	平成28年度 松陰山手公園、鳥羽新田2号公園
	平成29年度 大久保町三軒茶屋公園、(仮)林工区高架下まちかど広場、(仮)住吉3丁目公園

事業のコスト (単位: 千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				29年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
27決算	20,460	0	20,460	6,931	9,700	0	3,829				
28当初予算	47,364	5,508	52,872	2,100	45,200	0	5,572	正規	0.88	アルバイト	0.00
28決算	26,878	5,508	32,386	2,400	24,400	0	5,586	再任用	0.00	その他	0.00
29当初予算	49,820	7,128	56,948	16,000	33,000	0	7,948	任期付	0.00	合計	0.88

28年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	29年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	工事請負費	鳥羽新田南公園整備工事	15,810		工事請負費	大久保町三軒茶屋公園整備工事ほか	49,000
	委託料	(仮称)鳥羽新田2号公園実施設計業務委託ほか	11,068		負担金補助及び交付金	水道施設分担金	810
					役務費	給水施設工事手数料	10
合計			26,878	合計			49,820

平成29年度 事務事業点検シート

整理番号	0157103000-003	事務事業名	都市公園整備事業
------	----------------	-------	----------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			27年度	28年度	29年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	明石市民一人あたりの都市公園面積	都市公園面積を人口で除したもの			6.99	6.98	7.00
		平成32年度	㎡	7.50			
指標で表せない成果							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点に「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
区画整理事業との連携を図り、市民1人あたりの公園面積の向上を目指し、公園整備を行っていく。						

平成29年度 事務事業点検シート

事務事業名		既設公園リフレッシュ事業		新規/継続	継続事業	整理番号	0157103000 - 004		
				分割/統合					
関連 予算 科目	会計	一般会計		事業の分割/ 統合の内容					
	款	土木費		事業所管課	都市局都市整備室緑化公園課				
	項	都市計画費		連絡先	(078)918-5039				
	目	公園費		自治/法定	自治事務	開始年度	平成 15 年度		
	事業	既設公園リフレッシュ事業		根拠法令 ・要綱等	都市公園法				
施策分野		5 都市基盤整備分野		実施方法	直営	○	補助・助成	その他	
		5-4 公園の整備・緑化の推進			委託		指定管理		
個別計画		緑の基本計画							
事業の 目的・ 目標	目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）								
	公園の遊具を利用する幼児・児童等に、安心して公園遊具を利用してもらうため、危険性の高い遊具を撤去し、新たに安全性の高い遊具の設置を行う。								
	成果指標								
	指標名	考え方・定義・式			目標年次	単位	目標値		
	長寿命化計画に基づく遊具の修繕、改築事業進捗率	施設修繕、改修完了数を計画数で除したもの			平成35年度	%	100		
事業 内容	平成25年度以降は公園施設長寿命化計画により、コンクリート遊具(55公園)及びスプリング遊具54公園(98基)の補修・更新工事を行う。								
	H25年度 コンクリート遊具13公園								
	H26年度 コンクリート遊具1公園、スプリング遊具5公園12基								
	H27年度 コンクリート遊具7公園、スプリング遊具5公園13基								
	H28年度 スプリング遊具8公園12基								
	H29年度 コンクリート遊具8公園、スプリング遊具6公園12基(予定)								

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				29年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
27決算	2,657	3,444	6,101	0	0	0	6,101	正規	0.34	アルバイト	0.00
28当初予算	4,000	2,754	6,754	0	0	0	6,754	再任用	0.00	その他	0.00
28決算	702	2,754	3,456	0	0	0	3,456	任期付	0.00	合計	0.34
29当初予算	4,000	2,754	6,754	0	0	0	6,754				

28年度 決算 事業費 明細	区分(節)	内容	金額	29年度 当初 予算 事業費 明細	区分(節)	内容	金額
		工事請負費	中崎ヤマモモ公園遊戯施設更新工事		702		工事請負費
	合計		702		合計		4,000

平成29年度 事務事業点検シート

整理番号	0157103000-004	事務事業名	既設公園リフレッシュ事業
------	----------------	-------	--------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			27年度	28年度	29年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	長寿命化計画に基づく遊具の修繕、改築事業進捗率	施設修繕、改修完了数を計画数で除したもの			28 (コンクリート遊具7公園、スプリング遊具5公園13基)	36 (スプリング遊具8公園12基)	50 (コンクリート遊具8公園、スプリング遊具6公園12基予定)
		平成35年度	%	100			
指標で表せない成果							
<ul style="list-style-type: none"> ・安全で優良な遊具を設置し適切な維持管理を行うことで、子どもにとっての「遊びの価値」を尊重しつつ、遊びに伴なうリスクを適切に管理する。 ・より安全性の高い遊具への移行により、遊具における事故を未然に防止し、公園遊具の安全性を確保している。 							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点に「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
平成26年度以降は長寿命化計画で要修繕と判定されたコンクリート遊具の補修、及び既存の老朽化したスプリング遊具等を既設公園リフレッシュ事業においてスライド遊具に更新し、遊具利用者である子どもたちが安全で安心して使用できる遊具を提供する。						

平成29年度 事務事業点検シート

事務事業名	都市公園安全・安心対策事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0157103000 - 005		
		分割/統合					
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容				
	款	土木費		事業所管課	都市局都市整備室緑化公園課		
	項	都市計画費		連絡先	(078)918-5039		
	目	公園費		自治/法定	自治事務	開始年度	平成 21 年度
	事業	都市公園安全・安心対策事業		根拠法令・要綱等	都市公園法		
施策分野	5 都市基盤整備分野		実施方法	直営	○	補助・助成	その他
	5-4 公園の整備・緑化の推進			委託		指定管理	
個別計画	緑の基本計画						

事業の目的・目標	目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）				
	公園を利用する市民に対し、都市公園において公園施設の安全性の向上を図るため、処分制限期間を超え、危険度判定調査等で改善が必要と判断された公園施設の改築・更新を行う。また、建築物の耐震化工事を行う。				
	成果指標				
	指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値
	健全な遊具等の率	健全な遊具数を全体の遊具数で除したもの	平成30年度	%	100
	建築物耐震化率	耐震化工事件数を耐震化が必要な建物の耐震化計画件数で除したもの	平成29年度	%	100
事業内容	平成27年度から、平成26年度に見直した公園長寿命化計画に沿って公園施設の改築・更新を行っている。 27年度 7公園 遊具11基、バックネット2基、四阿2基 (H27年度末 進捗率約90%) 28年度 1公園 公園灯17基 29年度 明石中央体育会館の耐震工事により交付金不足のため休止(予定)				
	平成28年度から建物の耐震化事業を行っている。 28年度 明石中央体育会館 柱の耐震化工事 29年度 " 特定天井の耐震化工事及び照明更新(LED化)				

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				29年度人員配置(人)		
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源			
27決算	88,723	13,120	101,843	41,280	37,200	0	23,363			
28当初予算	180,280	10,044	190,324	90,000	90,000	0	10,324	正規	1.46	アルバイト 0.00
28決算	119,222	10,044	129,266	58,500	58,500	0	12,266	再任用	0.00	その他 0.00
29当初予算	187,580	11,826	199,406	89,000	98,300	0	12,106	任期付	0.00	合計 1.46

28年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	29年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	旅費	近接地旅費	9		9	旅費	近接地旅費
需用費	消耗品費	9	9	需用費	消耗品・印刷製本費	160	
使用料及び賃借料	コピー使用料	80	80	使用料及び賃借料	コピー使用料	80	
工事請負費	明石中央体育会館耐震補強ほか工事ほか	119,124	119,124	工事請負費	明石中央体育会館特定天井耐震化工事ほか	187,300	
	合計		119,222		合計		187,580

平成29年度 事務事業点検シート

整理番号	0157103000-005	事務事業名	都市公園安全・安心対策事業
------	----------------	-------	---------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			27年度	28年度	29年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	健全な遊具等の率	健全な遊具数を全体の遊具数で除したもの			98	99	100
		平成30年度	%	100			
	建築物耐震化率	耐震化工事件数を耐震化が必要な建物の耐震化計画件数で除したもの			0	90	100
		平成29年度	%	100			
指標で表せない成果							
<p>公園を利用する地域住民の安全が順次確保できている。 「健全な遊具の率」は、26年度に一旦100%になったが、5年毎に長寿命化計画を見直しを行うため、計画の更新時に老朽化した遊具(18基)が出てきたため、指標が変動する。「建築物耐震化率」について、明石中央体育館の1施設が対象であることにより、H28年度には、主要構造部材の耐震化を実施し、H29年度には非構造部材の特定天井の耐震化を実施する予定である。</p>							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
<p>平成21年度から平成25年度までの5ヶ年の計画であった都市公園安全安心対策緊急総合支援事業は、平成25年度当初、国庫補助金の交付額が要望額に達しておらず、計画どおりに施工できなかったが、国予算の平成25年度補正及び平成26年度に創設された公園施設長寿命化対策支援事業において事業費が補填され当初計画していた事業は完了する。なお、今後は、公園施設長寿命化計画に基づき事業を行う予定です。</p>						

平成29年度 事務事業点検シート

事務事業名	緑化推進事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0157103000 - 006			
		分割/統合						
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容					
	款	土木費		事業所管課	都市局都市整備室緑化公園課			
	項	都市計画費			連絡先	(078)918-5039		
	目	公園費		自治/法定		自治事務	開始年度	昭和 46 年度
	事業	緑化推進事業						
施策分野	5 都市基盤整備分野 5-4 公園の整備・緑化の推進	根拠法令・要綱等	明石市緑の基本計画					
個別計画	緑の基本計画		実施方法	直営	<input type="radio"/>	補助・助成	<input type="checkbox"/>	その他
				委託	<input type="radio"/>	指定管理	<input type="checkbox"/>	

事業の目的・目標	目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）				
	花と緑に関する相談や園芸講習会及び各種展示会並びにイベント開催により、市民がより花や緑に親しみ、活用するきっかけを提供する。また、市と連携、協働して、緑化活動に取り組む市民や団体のボランティアを育成し、緑化の推進を図る。				
	成果指標				
	指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値
学習園の利用者数	緑化相談や園芸講習会・展示会の開催、見本園などで、花や緑に関して学習園が活用されているかを測る指標とする。	平成29年度	人	51,000	
市民交流会等の実施回数	積極的に地域や学校園等を受け入れることで、より多くの市民が緑に親しむ機会を提供できているかを示す指標とする。	平成29年度	回	10	

事業内容	①花と緑の学習園の管理運営 ・園芸講習会等や各種展示会を実施する。 【27年度実績】園芸講習会35回 移動園芸教室等18回 展示会4回(8日間) 来園者 46,487人(うち見本園散策者 35,845人) 【28年度実績】園芸講習会34回 市民交流会等 18回 展示会4回(8日間) 来園者 48,609人(うち見本園散策者 37,255人) 【29年度見込】園芸講習会35回 市民交流会等 10回 展示会4回(8日間) 来園者 51,000人(うち見本園散策者 38,000人) ・みどりの相談所として、緑化相談員が緑化相談に応じる。 【27年度実績】緑化相談1,532件 図書閲覧3,948人 【28年度実績】緑化相談1,359件 図書閲覧5,538人 【29年度見込】緑化相談1,500件 図書閲覧4,000人				
	②花壇コンクールの開催 例年11月、花壇コンクールに参加する登録団体に草花苗を配布し、翌年4月に審査を実施する。 昭和46年4月に開催され、平成29年度で78回目の開催となる。平成29年度配布草花苗数は約95,000株。 【27年度実績】一般の部111団体 シルバーの部54団体 計165団体 【28年度実績】一般の部110団体 シルバーの部52団体 計162団体 【29年度実績】165団体(29年度より一般の部とシルバーの部は統合) ③みどりのリサイクル事業委託(不要になった庭木等を引き取り、緑化に活用する。)平成4年5月～ 【27年度実績】25本 【28年度実績】25本 【29年度見込】25本 ④市民記念植樹祭委託(市民団体が主体となって行う記念植樹をサポート) 昭和53年4月～ ⑤花と緑のまちづくり事業 ボランティアグループによる花壇維持管理作業 平成14年度～平成16年度 学習園花壇(アルファグリーン) 平成17年度～平成24年度 明石駅前花壇(アルファグリーン) 平成25年度～ 上ヶ池公園エントランス花壇(アルファグリーン) 平成27年度～ 大久保駅前南花壇 平成28年度～ 明石駅前花壇(あかねが丘学園)				

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				29年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
27決算	22,471	33,488	55,959	22	0	1,388	54,549	正規	2.31	アルバイト	0.00
28当初予算	29,634	29,741	59,375	10	0	1,408	57,957	再任用	0.50	その他	0.00
28決算	25,794	29,741	55,535	18	0	1,145	54,372	任期付	3.90	合計	6.71
29当初予算	29,308	30,551	59,859	22	0	1,365	58,472				

区分(節)	内容	金額	29年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
需用費	消耗品・修繕・燃料・食糧・光熱水費	9,841	需用費	消耗品・修繕・燃料・食糧・光熱水費	10,284	
委託料	見本園草花苗灌水・除草・清掃等業務委託ほか	11,652	委託料	見本園草花苗灌水・除草・清掃等業務委託ほか	15,250	
役務費	電話料金ほか	214	役務費	電話料金ほか	377	
負担金補助及び交付金	まちなみガーデンショー協賛金ほか	2,200	負担金補助及び交付金	まちなみガーデンショー協賛金ほか	2,207	
その他	旅費、使用料及び賃借料、備品購入費	1,444	その他	旅費、使用料及び賃借料、備品購入費、公課費	315	
合計		25,794		合計		29,308

平成29年度 事務事業点検シート

整理番号	0157103000-006	事務事業名	緑化推進事業
------	----------------	-------	--------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			27年度	28年度	29年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	学習園の利用者数	緑化相談や園芸講習会・展示会の開催、見本園など、花や緑に関して学習園が活用されているかを測る指標とする。			46,487	48,609	51,000
		平成29年度	人	51,000			
	市民交流会等の実施回数	積極的に地域や学校園等を受け入れることで、より多くの市民が緑に親しむ機会を提供できているかを示す指標とする。			18	20	10
		平成29年度	回	10			
指標で表せない成果							
花と緑のまちづくり事業は、ボランティアとの協働で明石駅前花壇や上ヶ池公園エントランス花壇及び大久保駅南花壇の植え替え管理を行っており、「市民主体で進めるまちづくり」の形で緑化が推進できている。 花壇コンクール事業は、地域住民の自主性に根ざした地域づくりが定着し、参加者が花づくりを楽しみながら健康の増進を図り、あわせて交流の場をつくることによって地域コミュニティの活性化が図られている。							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点に「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
・花と緑の学習園をベースとした協働作業を通じて、個々の緑化技術の向上をはかり、将来的にはボランティアリーダーとしての活動や緑化活動の場をサポートする。 ・その他の事業については継続する。						

平成29年度 事務事業点検シート

事務事業名	菊栽培等事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0157103000 - 007				
		分割/統合							
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容						
	款	土木費		事業所管課	都市局都市整備室緑化公園課				
	項	都市計画費			連絡先	(078)918-5039			
	目	公園費				自治/法定	自治事務	開始年度	大正 15 年度
	事業	菊栽培等事業							
施策分野	5 都市基盤整備分野 5-4 公園の整備・緑化の推進	根拠法令・要綱等	明石市緑の基本計画						
個別計画	緑の基本計画		実施方法	直営	○	補助・助成	その他		
				委託	○	指定管理			

目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）
 長い歴史と伝統を誇る「明石公園菊花展」を薫り高い文化的な伝統行事として栽培技術と共に後世に継承することにより文化的で緑豊かなまちづくりを推進する。また、明石の秋を彩る観光イベントとしてまちの活性化に寄与することを目的とする。

成果指標				
指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値
菊花展覧会への出品作品数	菊花栽培教室等による、菊花の普及状況や栽培技術の向上を確認するひとつの指標とする。	平成29年度	点	370
菊花展覧会の来場者数	秋の観光資源としての来場者数の指標とする。	平成29年度	人	190,000

事業内容

①29年度 第89回明石公園菊花展覧会の開催
 主催 兵庫県、明石市、明石公園菊花展覧会実行委員会（総裁：兵庫県知事、会長：明石市長）
 後援 9団体(国土交通省、総務省、環境省ほか) 協賛 約30団体(魚の棚商店街ほか)
 会期 10月21日(土)から11月12日(日)までの23日間
 【27年度(第87回実績)】出品者 88名11団体 出品点数 355点 来場者数 179,000人
 【28年度(第88回実績)】出品者 65名13団体 出品点数 355点 来場者数 187,500人
 【29年度(第89回見込)】出品者 65名28団体 出品点数 370点 来場者数 190,000人
 実行委員長(明石菊花協会会長)や実行委員(19名)、並びに参与(明石市や兵庫県)や顧問(兵庫県菊花連合会会長 ほか)で構成される実行委員会において、開催要領、出品要領、審査要領等を決定する。
 展示・運営については、事業見直しを行い、平成19年度(第79回)から民間委託している。

② 明石市菊花栽培場の管理運営
 平成19年度より業務の一部を民間委託し、共同で管理運営している。
 (市民開放(貸出)) 菊づくりの場を市民に提供するため、1年間1人2区画まで栽培スペースを貸し出している。
 (1区画は1,800mm×900mm) 【27年度実績】13名26区画 【28年度実績】13名26区画 【29年度実績】14名28区画

③ 菊花栽培教室の開催
 菊花栽培者の裾野拡大と栽培技術の向上のため、菊花栽培教室を開催している。
 【27年度実績】小品盆栽(49名/全7回)、懸崖菊(16名/全2回)、大菊(23名/全3回)、福助菊(30名/全2回)、梵天菊(16名/全2回)
 【28年度実績】小品盆栽(39名/全7回)、懸崖菊・梵天菊(21名/全3回)、大菊(18名/全3回)、福助菊(35名/全2回)
 【29年度実績】小品盆栽(52名/全7回)、懸崖菊・梵天菊(22名/全3回)、大菊(16名/全3回)、福助菊(26名/全2回)

④ 第42回菊花展児童写生作品展の開催
 小学生、幼稚園児・保育園児に市花である菊花に親しんでもらうために菊花展の風景等を題材にした写生作品展を開催する。
 【27年度実績】応募数 699作品 【28年度実績】応募数 579作品 【29年度見込】応募数 700作品

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				29年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
27決算	17,257	14,884	32,141	0	0	1,128	31,013				
28当初予算	17,405	14,822	32,227	0	0	1,249	30,978	正規	1.62	アルバイト	0.00
28決算	17,106	14,822	31,928	0	0	1,281	30,647	再任用	0.50	その他	1.00
29当初予算	15,664	19,522	35,186	0	0	1,313	33,873	任期付	0.50	合計	3.62

区分(節)	内容	金額	29年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
報償費	菊花栽培教室講師謝礼	228		報償費	菊花栽培教室講師謝礼	246
旅費	近接地旅費	28		旅費	近接地旅費	30
需用費	消耗品・修繕・燃料・食糧・光熱水費	802		需用費	消耗品・修繕・燃料・食糧・光熱水費	845
役務費	電話代	39		役務費	電話代	45
委託料	菊花展覧会及び菊花栽培場管理運営業務委託ほか	16,009		委託料	菊花展覧会及び菊花栽培場管理運営業務委託ほか	14,490
				使用料及び賃借料	審査会場等賃借料	8
合計		17,106		合計		15,664

平成29年度 事務事業点検シート

整理番号	0157103000-007	事務事業名	菊栽培等事業
------	----------------	-------	--------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			27年度	28年度	29年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	菊花展覧会への出品作品数	菊花栽培教室等による、菊花の普及状況や栽培技術の向上を確認するひとつの指標とする。			355点/21部門	355点/21部門	370点/21部門
		平成29年度	点	370			
	菊花展覧会の来場者数	秋の観光資源としての来場者数の指標とする。			179,000人/23日 (7,783人/日)	187,500人/23日 (8,152人/日)	190,000人/23日 (8,260人/日)
		平成29年度	人	190,000			
指標で表せない成果							
今年度で89回目を迎える本展覧会は大正15年から続いており、永い歴史と伝統のある、明石の秋を彩る代表的な行事として全国的にも広く知られている。また、菊花の出品レベルも非常に高く、国土交通大臣賞をはじめ7省の大臣表彰が授与されるなど、全国的にも稀有な品格のある展覧会である。							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
市の花である菊の普及啓発と菊花展覧会の拡充を図るため、小学校・幼稚園・保育園への菊苗配布や市民等を対象とした菊花栽培教室などを継続して行なうとともに、企業・団体等から協賛広告の支援を受けて案内リーフレットを作成するなど、菊花展覧会に係る市負担額の軽減を図る。 また、菊花展覧会をまちの活性化につなげていくために駅や商店街に意匠花壇を展示するほか、観光協会と連携を図るなど「明石公園菊花展」の魅力を内外に広めていく。						

平成29年度 事務事業点検シート

事務事業名	墓園維持管理事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0157103000 - 008		
		分割/統合					
関連予算科目	会計	石ヶ谷墓園整備事業	事業の分割/統合の内容				
	款	墓園事業費	事業所管課	都市局都市整備室緑化公園課			
	項	墓園維持管理費	連絡先	(078)918-5039			
	目	一般管理費	自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 43 年度	
	事業	墓園維持管理事業	根拠法令・要綱等	都市計画法・都市公園法・墓地、埋葬等に関する法律・明石市墓園条例			
施策分野	4 生活・環境分野		実施方法	直営	○	補助・助成	その他
	4-7 斎場・墓園の整備、管理			委託		指定管理	
個別計画							

事業の目的・目標	目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）				
	墓園を使用される方への快適な環境を提供するため、施設の運営及び維持管理を行う。				
	成果指標				
	指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値
	墓園使用者の所在不明者の人数	墓園使用者の住所や死亡等を掌握し早期対応することで、墓所の無縁化等が防止できる。	平成30年度	人	0

事業内容	1 墓園内の清掃、ごみの収集運搬、草刈、薬剤散布、剪定を直営及び委託で行っている。 2 老朽化した施設等(水道・園路等)の補修等工事を順次行っている。 平成27年度 給水管直圧切替工事を実施 平成28年度 墓園園路補修工事 平成29年度 墓園園路補修工事、返還墓所撤去工事(予定)				
	3 お盆・お彼岸時に混雑する墓参車両の整理のため、臨時ゲートに出口を設置し、交通誘導警備を行っている。 お盆、秋・春彼岸時に交通誘導警備を実施した日(9:00~16:00)の車両進入台数 平成27年度 お盆(4日間) 5,052台 秋彼岸(3日間) 4,800台 春彼岸(3日間) 5,180台 平成28年度 お盆(4日間) 6,603台 秋彼岸(3日間) 3,278台 春彼岸(3日間) 5,379台 平成29年度 お盆(4日間) 6,000台(見込み) 秋彼岸(4日間) 5,000台(見込み) 春彼岸(3日間) 5,400台(見込み)				
	4 墓園使用者募集事務を行っている。 平成27年度 返還区画の募集実施(25区画) 平成28年度 返還区画の募集実施(25区画) 平成29年度 返還区画の募集実施、合葬式墓地の募集実施(予定)				
	5 墓園使用者の所在調査を行い、死亡している場合は承継依頼を行っている。 平成27年 3月末現在 住所不明者 450人 平成28年 3月末現在 住所不明者 73人 平成29年 3月末現在 住所不明者 50人				

事業のコスト (単位: 千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				29年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
27決算	14,069	50,626	64,695	0	0	14,069	50,626	正規	4.23	アルバイト	0.00
28当初予算	23,661	50,293	73,954	0	0	23,661	50,293	再任用	4.00	その他	0.00
28決算	21,026	50,293	71,319	0	0	21,026	50,293	任期付	0.90	合計	9.13
29当初予算	44,803	50,293	95,096	0	0	44,803	50,293				

28年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	29年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	需用費	墓園の運営管理に係る消耗品費・修繕料ほか	5,101		6,957	需用費	墓園の運営管理に係る消耗品費・修繕料ほか
役務費	郵便料・自動車損害保険料ほか	280	1,334	役務費	郵便料・自動車損害保険料ほか	1,334	
委託料	墓園環境整備業務・墓園台帳管理システム構築業務委託ほか	13,761	9,611	委託料	墓園環境整備業務・合葬式墓地記名板刻字等業務委託ほか	9,611	
使用料及び賃借料	高所作業車リース料ほか	390	600	使用料及び賃借料	高所作業車リース料ほか	600	
工事請負費	墓園園路補修工事	864	26,000	工事請負費	墓園園路補修工事・返還墓所撤去工事	26,000	
その他		630	301	その他		301	
	合計		21,026		合計		44,803

平成29年度 事務事業点検シート

整理番号	0157103000-008	事務事業名	墓園維持管理事業
------	----------------	-------	----------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			27年度	28年度	29年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	墓園使用者の所在不明者の人数	墓園使用者の住所や死亡等を掌握し早期対応することで、墓所の無縁化等が防止できる。			73	50	30
		平成30年度	人	0			
指標で表せない成果							
・墓園内における共用部分(進入路・園路・トイレ・樹木等の施設等)について適切な維持管理を行うことにより、墓園を使用する方が心地良く墓参でき、サービス向上につながっている。							

事業の評価・今後の方向性	観点 (満たしていない観点に「×」)					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
今後も、施設の老朽化に伴う維持管理費の増加が予想される。 市民の公営墓地に対する需要が高いため、必要としなくなった一般墓地の返還を促進していく。 再募集による使用料・管理料が主な収入であるため、管理料の見直しを含めた収支健全化を検討していく。						

平成29年度 事務事業点検シート

事務事業名 解約還付金還付事業		新規/継続	継続事業	整理番号	0157103000 - 009			
		分割/統合						
関連 予算 科目	会計	石ヶ谷墓園整備事業						
	款	諸支出金						
	項	諸費						
	目	還付金						
	事業	解約還付金還付事業						
施策分野		4 生活・環境分野						
		4-7 斎場・墓園の整備、管理						
個別計画								
事業の 目的・ 目標		目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）						
		使用許可後5年以内に墓所を返還した方に、使用料及び管理料の半額を還付することで負担の軽減を図る。						
事業 内容		成果指標						
		指標名	考え方・定義・式			目標年次	単位	目標値
事業 内容		使用許可後5年以内の墓所返還者数	ニーズにあった墓地供給や、快適な墓参環境を整えることで、早期の墓所返還者を減らすことができる。			平成29年度	人	0
		使用許可後5年以内の墓所返還者に既納の使用料及び管理料の半額を還付する。 平成27年度 予算計上額 2,000千円 執行額 0円 平成28年度 予算計上額 2,000千円 執行額 0円 平成29年度 予算計上額 2,000千円 執行額 0円（見込み）						

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				29年度人員配置（人）			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
27決算	0	1,032	1,032	0	0	0	1,032				
28当初予算	2,000	1,026	3,026	0	0	2,000	1,026	正規	0.11	アルバイト	0.00
28決算	0	1,026	1,026	0	0	0	1,026	再任用	0.00	その他	0.00
29当初予算	2,000	1,026	3,026	0	0	2,000	1,026	任期付	0.05	合計	0.16

28年度 決算 事業費 明細	区分（節）	内容	金額	29年度 当初 予算 事業費 明細	区分（節）	内容	金額
						償還金利息及び割引料	
						墓園使用料及び管理料の還付金	2,000
	合計		0		合計		2,000

平成29年度 事務事業点検シート

整理番号	0157103000-009	事務事業名	解約還付金還付事業
------	----------------	-------	-----------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			27年度	28年度	29年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	使用許可後5年以内の墓所返還者数	ニーズにあった墓地供給や、快適な墓参環境を整えることで、早期の墓所返還者を減らすことができる。			0	0	0
		平成29年度	人	0			
指標で表せない成果							
・突発的な理由により早期に墓所を返還された方への負担軽減を図ることができる。							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
・解約還付金の還付については、突発的な理由による早期墓所返還者への必要最小限の負担軽減になっていると考えられる。 ・返還された墓所の再募集により、墓地を必要とする市民への墓地供給になるとともに、新たに使用料及び管理料の収入が見込める。						

平成29年度 事務事業点検シート

事務事業名		予備費	新規/継続	継続事業	整理番号	0157103000 - 010		
			分割/統合					
関連 予算 科目	会計	石ヶ谷墓園整備事業	事業の分割/ 統合の内容					
	款	予備費	事業所管課	都市局都市整備室緑化公園課				
	項	予備費	連絡先	(078)918-5039				
	目	予備費	自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 43 年度		
	事業	予備費	根拠法令 ・要綱等	都市計画法・都市公園法・墓地、埋葬等に関する法律・明石市墓園条例				
施策分野		4 生活・環境分野	実施方法	直営	○	補助・助成	その他	
		4-7 斎場・墓園の整備、管理		委託		指定管理		
個別計画								
事業の 目的・ 目標	目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）							
	明石市石ヶ谷墓園整備事業特別会計予算において、予定外の支出及び予算を超過した支出へ対応するため、予備費を計上する。							
	成果指標							
	指標名	考え方・定義・式			目標年次	単位	目標値	
	執行率	計画的な事業運営により、予備費の執行率を低くすることができる。			平成29年度	%	0	
事業 内容	予見できない歳出予算の不足を補うため、予備費を計上する。							
		平成27年度	予算計上額	1,000千円	執行額	0円		
		平成28年度	予算計上額	1,000千円	執行額	0円		
		平成29年度	予算計上額	1,000千円	執行額	0円（見込み）		

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				29年度人員配置（人）			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
27決算	0	1,032	1,032	0	0	0	1,032				
28当初予算	1,000	1,026	2,026	0	0	1,000	1,026	正規	0.11	アルバイト	0.00
28決算	0	1,026	1,026	0	0	0	1,026	再任用	0.00	その他	0.00
29当初予算	1,000	1,026	2,026	0	0	1,000	1,026	任期付	0.05	合計	0.16

28年度 決算 事業費 明細	区分（節）	内容	金額	29年度 当初 予算 事業費 明細	区分（節）	内容	金額
							予備費
	合計		0		合計		1,000

平成29年度 事務事業点検シート

整理番号	0157103000-010	事務事業名	予備費		
------	----------------	-------	-----	--	--

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			27年度	28年度	29年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	執行率	計画的な事業運営により、予備費の執行率を低くすることができる。			0	0	0
		平成29年度	%	0			
指標で表せない成果							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点に「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
・予備費の執行は、不測の事態にのみ執行するものとし、必要最小限にとどめる。						

平成29年度 事務事業点検シート

事務事業名	墓園整備事業	新規/継続	H28休廃止	整理番号	0157103000 - 011		
		分割/統合					
関連予算科目	会計	石ヶ谷墓園整備事業	事業の分割/統合の内容				
	款	墓園事業費	事業所管課	都市局都市整備室緑化公園課			
	項	墓園整備事業費	連絡先	(078)918-5039			
	目	墓園整備事業費	自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 43 年度	
	事業	墓園整備事業	根拠法令・要綱等	都市計画法・都市公園法・墓地、埋葬等に関する法律・明石市墓園条例			
施策分野	4 生活・環境分野 4-7 斎場・墓園の整備、管理		実施方法	直営 <input type="radio"/>	補助・助成 <input type="radio"/>	その他 <input type="radio"/>	
個別計画				委託 <input type="radio"/>	指定管理 <input type="radio"/>		

事業の目的・目標	目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）				
	市民ニーズにあった合葬式墓地进行建設し、50年間にわたって市民の方へ安定的に供用していく。				
	成果指標				
	指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値
	合葬式墓地への納骨数の収容率	合葬式墓地进行安定的に供用するため、50年後に収容率100%になることが望ましい。	平成28年度	%	100

事業内容	1 市民ニーズにあった合葬式墓地进行設置する。	
	平成25年度	墓地に関する市民アンケート調査を実施
	平成26年度	合葬式墓地基本計画の策定
	平成27年度	合葬式墓地設計業務委託
	平成28年度	合葬式墓地建設工事着手
	平成29年度	合葬式墓地建設工事完了、供用開始(予定)
	2 合葬式墓地の概要	
	(1) 個別安置室	3,000体 収容可能
	(2) 合葬室	10,000体 収容可能
	(3) 参拝スペース	献花台、モニュメント、記名板
	(4) 構造	鉄筋コンクリート造平屋建て 延面積 112.03㎡

事業のコスト (単位: 千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				29年度人員配置(人)		
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源			
27決算	0	6,642	6,642	0	0	0	6,642			
28当初予算	130,000	6,561	136,561	0	0	130,000	6,561	正規	アルバイト	
28決算	49,884	6,561	56,445	0	0	49,884	6,561	再任用	その他	
29当初予算								任期付	合計	

28年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	29年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	委託料	合葬式墓地設計業務委託	6,904				
	工事請負費	合葬式墓地建設工事	42,980				
合計			49,884	合計			

平成29年度 事務事業点検シート

整理番号	0157103000-011	事務事業名	墓園整備事業		
------	----------------	-------	--------	--	--

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			27年度	28年度	29年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	合葬式墓地への納骨数の収容率	合葬式墓地を安定的に供用するため、50年後に収容率100%になることが望ましい。			0	0	/
		平成78年度	%	100			
指標で表せない成果							
<ul style="list-style-type: none"> ・市民ニーズの高い合葬式墓地の設置により、一般墓地を返還して合葬式墓地へ改葬する場合が期待され、依然としてニーズの高い一般墓地の供給の増加につながると考えられる。 ・一般墓地の無縁墓地の処理を行う場合に、合葬式墓地が有効な改葬先として活用することができる。 							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点に「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
	平成28年度限りで休廃止					
	現状の課題・今後の事業展開方針等					
	平成28年度限りで休廃止					

平成29年度 事務事業点検シート

事務事業名	大蔵地区住環境整備事業		新規/継続	継続事業	整理番号	0157104000 - 001		
			分割/統合					
関連 予算 科目 目	会計	一般会計	事業の分割/ 統合の内容					
	款	土木費	事業所管課	都市局都市整備室区画整理課				
	項	都市計画費	連絡先	(078)918-5038				
	目	都市計画総務費	自治/法定	自治事務	開始年度	平成 14 年度		
	事業	大蔵地区住環境整備事業	根拠法令 ・要綱等	住宅市街地総合整備事業制度要綱 密集住宅市街地整備促進事業制度要綱				
施策分野	5 都市基盤整備分野 5-1 良好な都市環境の整備		実施方法	直営	○	補助・助成	その他	
個別計画	都市計画マスタープラン			委託	○	指定管理		

事業の 目的・ 目標	目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）				
	狭隘道路や老朽住宅の密集等により、住環境の整備改善を必要とする大蔵地区において、住環境整備事業の推進や民間建築活動の誘導等により、良好な住環境の形成を図る。				
	成果指標				
	指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値
	事業進捗率	インフラ整備事業であり、成果の発生に時間を要するため、事業費を基に算出した事業の進捗率を指標とする。	平成29年度	%	100

事業 内容	道路、広場用地等の公共施設整備を行う。				
	【H27年度の事業実績】 ○道路用地取得及び道路新設に伴う補償を行う予定であったが、権利者との用地交渉難航のため、市道認定を行った上で、土地収用法に基づく、兵庫県知事へのあっせん申請を行った。				
	【H28年度の事業実績】 ○引き続き権利者との協議を行い、合意が得られたため、6月補正により、物件移転補償等(3件)、用地取得(105㎡)及び埋蔵文化財発掘調査を行い、大蔵地区1号線道路新設工事を発注した。(L=40m)				
	【H29年度の事業内容】 ○新設道路完成後、公共施設引継書作成業務委託を行う。				

事業のコスト (単位: 千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				29年度人員配置 (人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
27決算	1,422	7,380	8,802	0	0	0	8,802	正規	0.70	アルバイト	0.00
28当初予算	1,030	7,290	8,320	0	0	0	8,320	再任用	0.00	その他	0.00
28決算	54,369	7,290	61,659	26,404	24,100	0	11,155	任期付	0.00	合計	0.70
29当初予算	3,130	5,670	8,800	0	0	0	8,800				

28年度 決算 事業費 明細	区分(節)	内容	金額	29年度 当初 予算 事業費 明細	区分(節)	内容	金額
	委託料	物件調査業務、測量業務	605		旅費	近接地旅費	10
使用料及び賃借料	コピー・カラーコピー使用料	126	需用費	消耗品費(図書・図面印刷等)、食糧費(地元協議会用等)	90		
工事請負費	道路補修等用地管理	72	委託料	公共施設引継書作成業務、用地除草費、境界標設置等	1,400		
公有財産購入費	土地売買代金	11,724	使用料及び賃借料	コピー・カラーコピー使用料	130		
補償補填及び賠償金	物件移転等補償費	41,822	工事請負費	道路補修等用地管理	1,500		
その他	近接旅費、需用費	20					
	合計		54,369		合計		3,130

平成29年度 事務事業点検シート

整理番号	0157104000-001	事務事業名	大蔵地区住環境整備事業
------	----------------	-------	-------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			27年度	28年度	29年度見込み
	事業進捗率	目標年次	単位	目標値	79	89	100
		平成29年度	%	100			
指標で表せない成果							
道路整備等の公共施設整備、木造等老朽住宅の除却により防災性の向上が図られる。							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点に「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
事業の規模、手法とも現状を維持しながら、地域住民のまちづくりの意識の向上を図り、地権者の協力を促し、年度内完了を目指す。						

平成29年度 事務事業点検シート

事務事業名	区画整理一般事務事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0157104000 - 002				
		分割/統合							
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容						
	款	土木費		事業所管課	都市局都市整備室区画整理課				
	項	都市計画費		連絡先	(078)918-5038				
	目	土地区画整理費		自治/法定	自治事務	開始年度	不明		
	事業	区画整理一般事務事業		根拠法令・要綱等	土地区画整理法				
施策分野	5 都市基盤整備分野		実施方法	直営	○	補助・助成		その他	
	5-1 良好な都市環境の整備			委託		指定管理			
個別計画									

目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）
 区画整理課施設について適正な維持管理を行う。また、区画整理課職員が土地区画整理事業の実務を行う上で必要となる知識を習得するため、換地処分、清算、登記事務及び工事積算等を各研修会において学び、それにより事務の効率化及び個人の技術の向上を図る。

成果指標				
指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値
研修会参加数	各種研修に参加することにより、個人の技術向上につながるため、各種研修会への参加数を指標とする。	平成29年度	回	15

事業内容

区画整理課事務所施設の警備・清掃業務を委託することにより維持管理を適正に行い、業務の円滑な運営を図る。

換地処分、清算、不動産登記、補償及び工事積算等の研修会に参加し、個人の技術の向上を図る。

【H27年度の事業実績】
 ○上記研修会に参加し、個人の技術の向上を図った。
 区画整理課(5件) 大久保駅前区画整理事務所(12件)

【H28年度の事業実績】
 ○上記研修会に参加し、個人の技術の向上を図った。
 区画整理課(5件) 大久保駅前区画整理事務所(12件)

【H29年度の事業内容】
 ○上記研修会に参加し、個人の技術の向上を図る。(15件)

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				29年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
27決算	224	6,560	6,784	0	0	0	6,784	正規	0.80	アルバイト	0.00
28当初予算	361	5,670	6,031	0	0	0	6,031	再任用	0.00	その他	0.00
28決算	3,582	5,670	9,252	0	0	0	9,252	任期付	0.20	合計	1.00
29当初予算	1,994	7,020	9,014	0	0	0	9,014				

28年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	29年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	旅費	土地区画整理研修、用地事務職員研修ほか	16		旅費	兵庫県まちづくり技術センター等研修参加旅費	197
需用費	光熱水費、消耗品費、事務所修繕費	2,882	需用費	光熱水費、消耗品費	551		
委託料	事務所維持管理費(警備・清掃業務)	507	委託料	事務所維持管理費(警備・清掃業務)	552		
使用料及び賃借料	NHK受信料	14	使用料及び賃借料	NHK受信料	15		
負担金補助及び交付金	街づくり区画整理協会等年会費、各種研修参加負担金	163	負担金補助及び交付金	街づくり区画整理協会等年会費、各種研修参加負担金	279		
			役務費	事務所引越費用	400		
合計			3,582	合計			1,994

平成29年度 事務事業点検シート

整理番号	0157104000-002	事務事業名	区画整理一般事務事業
------	----------------	-------	------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			27年度	28年度	29年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	研修会参加数	各種研修に参加することにより、個人の技術向上につながるため、各種研修会への参加数を指標とする。			17	17	15
		平成29年度	回	15			
指標で表せない成果							
研修会等に参加し、個人の知識・技術の向上を図ることで、区画整理事業における補償事務、工事設計・積算事務、換地処分事務等が円滑に進み、事業の進捗につながっている。							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点に「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
<ul style="list-style-type: none"> ・事務所の維持管理については、事業の規模、手法とも現状を維持する。 ・事業の規模、手法とも現状を維持しながら、各職員の知識の習得及び技術の向上を図るため、各種研修会に参加する。 						

平成29年度 事務事業点検シート

事務事業名	大久保駅前東西工区土地区画整理事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0157104000 - 003				
		分割/統合							
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容						
	款	土木費							
	項	都市計画費							
	目	土地区画整理費							
	事業	大久保駅前東西工区土地区画整理事業							
			事業所管課	都市局都市整備室区画整理課					
			連絡先	(078)918-5625					
			自治/法定	自治事務	開始年度	平成 11 年度			
			根拠法令・要綱等	土地区画整理法・同施行令・同施行規則 東播都市計画事業大久保駅前土地区画整理事業施行規程					
施策分野				実施方法	直営	<input type="radio"/>	補助・助成	<input type="checkbox"/>	その他
個別計画			委託		<input type="radio"/>	指定管理	<input type="checkbox"/>		

事業の目的・目標	目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）				
	大久保駅前土地区画整理事業により、道路や公園などの公共施設の整備と良好な市街地形成を図り、まちの賑わいを高めるとともに、市民の安全・安心な暮らしを実現する。				
	成果指標				
	指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値
事業進捗率	インフラ整備事業であり、成果の発生に時間を要するため、事業費を基に算出した事業の進捗率を指標とする。	平成33年度	%	100	

事業内容	大久保駅前区画整理事業(東・西工区)区域内の建物移転を推進し、道路、公園等の公共施設整備を行う。				
	【H27年度事業実績】 ○国道線西ほか道路築造等工事を行った。(5件) ○建物移転等補償を行った。(25件)				
	【H28年度事業実績】(予定) ○西区画道路ほか道路築造等工事を行った。(12件) ○建物移転等補償を行った。(23件)				
	【H29年度事業実績】(予定) ○東・西工区について、計画的に建物移転を進め、物件移転の状況に応じて道路等の築造工事を行う。				

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				29年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
27決算	338,697	83,640	422,337	117,866	198,748	221	105,502	正規	5.20	アルバイト	0.00
28当初予算	429,253	83,160	512,413	137,305	128,300	34	246,774	再任用	0.50	その他	0.00
28決算	472,836	83,160	555,996	179,215	178,600	754	197,427	任期付	0.40	合計	6.10
29当初予算	497,748	44,900	542,648	170,500	312,500	34	59,614				

28年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	29年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	需用費	事務用消耗品、測量機器検定費用等	664		29	需用費	事務用消耗品、測量機器検定費用等
委託料	移転物件調査、街区点・画地点測量、除草・処分業務	24,137	29	委託料	移転物件調査、街区点・画地点測量、除草・処分業務	43,500	
使用料及び賃借料	コピー・カラーコピー使用料	117	29	使用料及び賃借料	コピー・カラーコピー使用料	250	
工事請負費	道路等築造等工事費	77,347	29	工事請負費	道路等築造等工事費	100,000	
補償補填及び賠償金	物件移転等補償費	364,207	29	補償補填及び賠償金	物件移転等補償費	338,500	
その他	旅費、役務費、原材料費、負担金	6,364	29	その他	審議会委員報酬、旅費、役務費、原材料費、負担金	14,578	
合計			472,836	合計			497,748

平成29年度 事務事業点検シート

整理番号	0157104000-003	事務事業名	大久保駅前東西工区土地区画整理事業
------	----------------	-------	-------------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			27年度	28年度	29年度見込み
	事業進捗率	目標年次	単位	目標値	61	64	68
		平成33年度	%	100			
指標で表せない成果							
道路や公園の整備により、安全・安心で住みよい住環境への改善と利便性の向上が図られる。 区画整理によって、宅地の利用増進を図り、人口増加及び税収入アップ、地域活力の向上につながる。							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点に「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
・この事業を継続するにおいて、今後も市民の十分な理解を得て協働して進めていくこと。 ・整備の進捗により土地利用の増進や健全な市街地の形成が進展しており、今後も交通アクセスの向上や、防災活動の円滑化が図られるなど生活環境の向上が見込まれる。						

平成29年度 事務事業点検シート

事務事業名	烏羽新田土地区画整理事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0157104000 - 004				
		分割/統合							
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容	事業所管課	都市局都市整備室区画整理課				
	款	土木費			連絡先	(078)918-5038			
	項	都市計画費				自治/法定	自治事務	開始年度	平成 5 年度
	目	土地区画整理費					根拠法令・要綱等	土地区画整理法・同施行令・同施行規則 東播都市計画事業西明石土地区画整理事業 (烏羽新田地区)施行規程	
	事業	烏羽新田土地区画整理事業						実施方法	直営
施策分野	5 都市基盤整備分野 5-1 良好な都市環境の整備	委託	<input type="radio"/>	指定管理	<input type="checkbox"/>				
個別計画	都市計画マスタープラン								

事業の目的・目標	目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）				
	西明石土地区画整理事業（烏羽新田地区）により、公共施設の整備改善と宅地利用の増進を図り、健全な市街地を造成する。				
	成果指標				
	指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値
事業進捗率	インフラ整備事業であり、成果の発生に時間を要するため、事業費を基に算出した事業の進捗率を指標とする。	平成31年度	%	100	

事業内容	道路、公園、水路等の公共施設整備を行う。
	【H27年度の事業実績】 ○区画道路20号線ほか築造工事を行った。(L=236m) ○支障物件の権利者に対して補償交渉を行い、物件移転補償等を行った。(6件)
	【H28年度の事業実績】 ○区画道路20号線ほか築造工事を行った。(L=34m) ○支障物件の権利者に対して補償交渉を行い、物件移転補償等を行った。(8件)
	【H29年度の事業内容】 ○区画道路22号線ほか築造工事を行う。(L=20m) ○換地計画設計業務を行う。

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				29年度人員配置（人）			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
27決算	68,241	35,440	103,681	0	0	0	103,681	正規	4.60	アルバイト	0.00
28当初予算	99,513	35,000	134,513	0	0	30	134,483	再任用	0.50	その他	0.00
28決算	105,532	35,000	140,532	0	0	0	140,532	任期付	0.40	合計	5.50
29当初予算	46,691	40,040	86,731	0	0	30	86,701				

28年度決算事業費明細	区分（節）	内容	金額	29年度当初予算事業費明細	区分（節）	内容	金額
	需用費	事務用消耗品、測量機器検定費用等	300		需用費	事務用消耗品、測量機器検定費用等	412
委託料	代位登記等業務、出来形確認等測量業務、事業用地除草費ほか	8,995	委託料	換地計画設計業務、内外分筆等測量業務、事業用地除草費	37,400		
使用料及び賃借料	コピー・カラーコピー使用料	243	使用料及び賃借料	コピー・カラーコピー使用料	250		
工事請負費	区画道路築造等工事費	15,052	工事請負費	区画道路築造等工事費	7,500		
補償補填及び賠償金	物件移転補償費	73,585	補償補填及び賠償金	物件移転補償費	1,000		
その他	旅費、負担金	7,357	その他	審議会委員報酬、旅費、手数料	129		
合計			105,532	合計			46,691

平成29年度 事務事業点検シート

整理番号	0157104000-004	事務事業名	鳥羽新田土地区画整理事業
------	----------------	-------	--------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			27年度	28年度	29年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	事業進捗率	インフラ整備事業であり、成果の発生に時間を要するため、事業費を基に算出した事業の進捗率を指標とする。			91	93	95
		平成31年度	%	100			
指標で表せない成果							
区画整理事業により道路、公園等が整備され、居住環境が向上するだけでなく、防災性の向上が見込まれる。また、安全・安心で住みよい住環境を整備することにより宅地の利用増進を図り、人口増加及び税収入アップ、地域活力の向上につながる。							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点に「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
事業の規模、手法とも現状を維持しながら、権利者との交渉を続け、移転補償及び地区内公共施設整備を進め、早期の完了を目指す。						

平成29年度 事務事業点検シート

事務事業名	組合土地区画整理事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0157104000 - 005			
		分割/統合						
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容					
	款	土木費						
	項	都市計画費	事業所管課	都市局都市整備室区画整理課				
	目	土地区画整理費	連絡先	(078)918-5038				
	事業	組合土地区画整理事業	自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 50 年度		
施策分野	5 都市基盤整備分野		根拠法令・要綱等	土地区画整理法 明石市土地区画整理事業助成金交付要綱				
	5-1 良好な都市環境の整備			実施方法	直営	○	補助・助成	○
個別計画	都市計画マスタープラン		委託		○	指定管理		

事業の目的
目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）
 土地区画整理組合に対し、財政的支援及び技術的支援を行うことで、地権者は事業化への意欲が高まり、施行地区の増加が見込まれる。また、財政的支援の効果として、グレードの高い都市基盤が整備されるので、良好な市街地の形成を図ることができる。

成果指標

指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値
事業進捗率	土地区画整理組合に対する財政的・技術的支援に要する事業費を基に算出した事業の進捗率を指標とする。	平成29年度	%	松陰山手 100 住吉3丁目 100

事業内容
 土地区画整理組合に対し、財政的(国庫補助金に関する市負担金の交付、市助成金交付要綱による助成金の交付)・技術的支援・許認可等を行う。

【H27年度の事業実績】
 ○組合施行土地区画整理事業の啓蒙普及に関する事務委託を行った。
 ○松陰山手土地区画整理組合に対し、市助成金交付要綱に基づき、助成金の交付を行った。
 (助成金 12,204千円 助成対象 公園築造費)

【H28年度の事業実績】
 ○組合施行土地区画整理事業の啓蒙普及に関する事務委託を行った。

【H29年度の事業内容】
 ○引き続き組合施行土地区画整理事業の啓蒙普及に関する事務委託を行う。

事業のコスト (単位: 千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				29年度人員配置 (人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
27決算	17,457	19,680	37,137	0	0	0	37,137	正規	1.70	アルバイト	0.00
28当初予算	5,375	19,440	24,815	0	0	0	24,815	再任用	0.00	その他	0.00
28決算	5,086	19,440	24,526	0	0	0	24,526	任期付	0.00	合計	1.70
29当初予算	5,375	13,770	19,145	0	0	0	19,145				

28年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	29年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	旅費	近接地旅費	8		30	旅費	近接地旅費
需用費	事務用消耗品、組合役員協議用食糧費	30	295	需用費	事務用消耗品、組合役員協議用食糧費	295	
委託料	明石市土地区画整理協会事務委託	5,000	5,000	委託料	明石市土地区画整理協会事務委託	5,000	
使用料及び賃借料	コピー・カラーコピー使用料	48	50	使用料及び賃借料	コピー・カラーコピー使用料	50	
合計			5,086	合計			5,375

平成29年度 事務事業点検シート

整理番号	0157104000-005	事務事業名	組合土地区画整理事業
------	----------------	-------	------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			27年度	28年度	29年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	事業進捗率	土地区画整理組合に対する財政的・技術的支援に要する事業費を基に算出した事業の進捗率を指標とする。			西脇94 松陰山手62 住吉3丁目13	西脇100 松陰山手99 住吉3丁目94	松陰山手100 住吉3丁目100
		平成29年度	%	松陰山手 100 住吉3丁目 100			
指標で表せない成果							
財政的・技術的支援により、地権者の事業化への意欲が高まり、都市基盤の整備が進むことによって、人口増加及び税収入アップにつながる。							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点に「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
事業の規模、手法とも現状を維持しながら、財政的・技術的支援及び許認可等を行う。 また、今後の組合設立を目指す西脇西地区、江井島駅北地区に対して、積極的な支援を行う。						

平成29年度 事務事業点検シート

事務事業名	一般会計繰出金	新規/継続	H28休廃止	整理番号	0157104000 - 006	
		分割/統合				
関連予算科目	会計	土地区画整理事業清算金	事業の分割/統合の内容			
	款	諸支出金	事業所管課	都市局都市整備室区画整理課		
	項	繰出金	連絡先	(078)918-5038		
	目	繰出金	自治/法定	自治事務	開始年度	平成 28 年度
	事業	一般会計繰出金	根拠法令・要綱等			
施策分野		実施方法	直営	○	補助・助成	その他
個別計画			委託		指定管理	

事業の目的・目標	目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）				
	区画整理事業の換地処分に伴う清算金について、清算金特別会計により生じた過不足を、清算金特別会計の最終年度に一般会計に引き継ぐ				
	成果指標				
	指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値

事業内容	1 西明石土地区画整理事業(鳥羽地区) 清算金 会計年度 平成22年度～平成27年度 収入累計 10,936,124円(徴収元金および利息) 支出累計 10,757,000円(交付元金) 差引 179,124円
	2 大久保駅前(第1・2工区)土地区画整理事業 清算金 会計年度 平成23年度～平成28年度 収入累計 21,382,779円(徴収元金および利息) 支出累計 21,367,652円(交付元金) 差引 15,128円
	計 194,252円の歳入超過分を一般会計に引き継ぐ

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				29年度人員配置(人)		
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源			
27決算	0	0	0	0	0	0	0	正規	アルバイト	
28当初予算	0	0	0	0	0	0	0	再任用	その他	
28決算	194	0	194	0	0	0	194	任期付	合計	
29当初予算										

28年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	29年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額	
		一般会計繰出金	194					
		合計			194		合計	

平成29年度 事務事業点検シート

整理番号	0157104000-006	事務事業名	一般会計繰出金
------	----------------	-------	---------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			27年度	28年度	29年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
指標で表せない成果							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点に「×」）					
	不可欠性	市が実施する 必要性	有効性	金額の 妥当性	公平性	優先性・ 緊急性
	平成28年度限りで休廃止					
現状の課題・今後の事業展開方針等						
平成28年度限りで休廃止						